



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(令和3年9月調査分)

## 《景気の現状判断DI》

	令和3年6月	令和3年9月	前回調査との差
茨城県	47.3	<b>34.7</b>	△12.6
県北地域	47.8	<b>32.2</b>	△15.6
県央地域	45.4	<b>34.2</b>	△11.2
鹿行地域	46.1	<b>38.1</b>	△8.0
県南地域	50.9	<b>37.5</b>	△13.4
県西地域	46.1	<b>31.5</b>	△14.6

## 《景気の先行き判断DI》

	令和3年6月	令和3年9月	前回調査との差
茨城県	56.0	<b>51.4</b>	△4.6
県北地域	52.6	<b>50.4</b>	△2.2
県央地域	57.5	<b>51.8</b>	△5.7
鹿行地域	55.2	<b>51.7</b>	△3.5
県南地域	59.9	<b>55.6</b>	△4.3
県西地域	54.7	<b>47.4</b>	△7.3

令和3年10月

茨城県政策企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	22
3	その他の意見	32

問合せ先  
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632  
公式サイトのURL  
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

### (2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	291 人	97.0%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	57 人	95.0%
鹿行地域	60 人	59 人	98.3%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

## 4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

## 5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和3年9月調査の調査期間は、令和3年9月5日から20日までである。

## 6 利用上の注意

(1) DI (Diffusion Index) は景気の方方向性（景気が上向きか下向きか）をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。

(2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気の方方向性をみるための指標(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例  
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50(=0.5点×100%)となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気の下局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは34.7となった。令和3年6月調査（以下「前回調査」という。）より12.6ポイント低下し、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表1-1 景気の現状判断DI

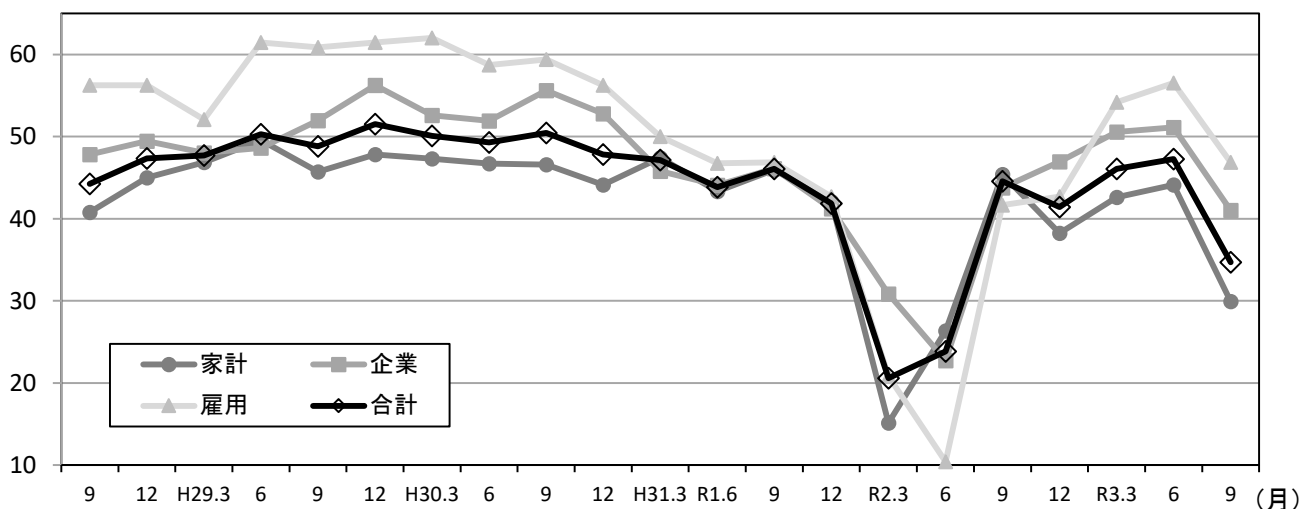
分野	調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
合計		44.6	41.4	46.1	47.3	34.7
家計動向関連		45.4	38.2	42.6	44.1	29.9
小売関連		42.1	42.9	41.7	38.7	29.3
飲食関連		47.4	31.0	28.9	42.7	12.5
サービス関連		49.0	36.8	45.9	49.7	33.1
住宅関連		35.7	31.3	53.1	44.4	50.0
企業動向関連		43.8	46.9	50.6	51.1	41.0
農林水産業		33.3	37.5	50.0	54.2	45.8
製造業		47.4	48.5	51.6	49.5	38.5
非製造業		40.4	46.4	49.2	52.9	43.6
雇用関連		41.7	42.7	54.2	56.5	46.9

表1-2 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	3.2%	5.3%	2.1%	4.5%	1.4%
やや良くなっている	26.7%	16.7%	26.1%	23.4%	8.9%
変わらない	29.9%	30.9%	38.6%	39.9%	40.5%
やや悪くなっている	25.6%	32.6%	20.4%	21.3%	25.4%
悪くなっている	14.6%	14.5%	12.9%	11.0%	23.7%

図1-1 景気の現状判断DIの推移

(DI)



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは51.4となった。前回調査より4.6ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表1-3 景気の先行き判断DI

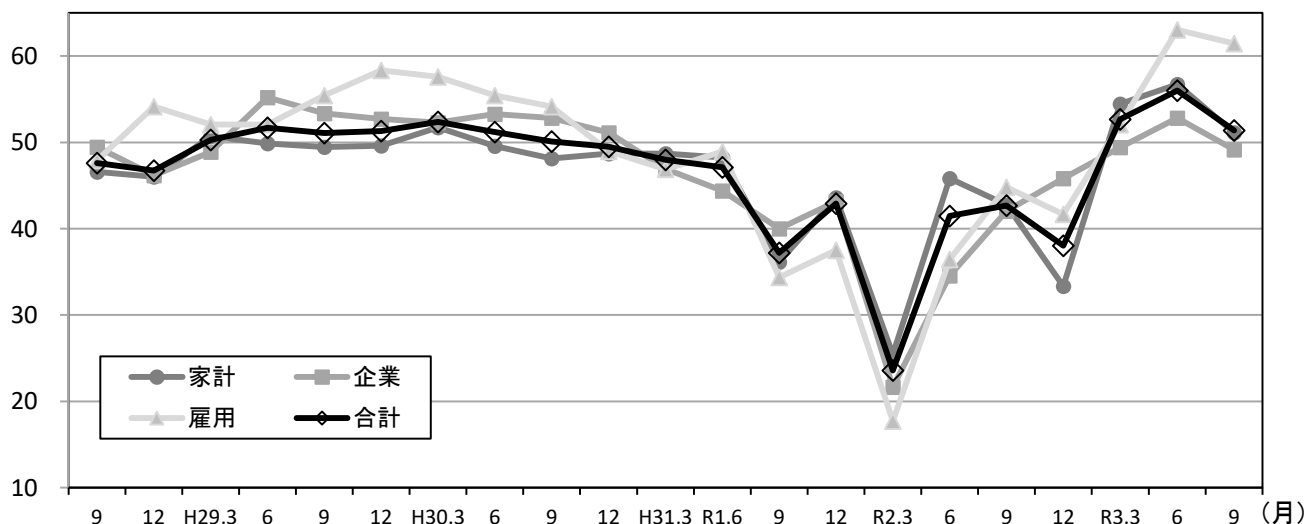
分野	調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
合計		42.7	38.0	52.7	56.0	51.4
家計動向関連		42.8	33.3	54.4	56.7	51.1
小売関連		41.8	35.4	51.4	52.1	48.6
飲食関連		44.7	28.6	55.3	58.3	46.6
サービス関連		44.5	31.9	57.2	63.7	56.8
住宅関連		28.6	40.6	53.1	30.6	33.3
企業動向関連		42.0	45.8	49.4	52.8	49.2
農林水産業		37.5	50.0	53.6	50.0	41.7
製造業		43.8	47.4	46.8	53.1	47.4
非製造業		40.4	42.9	52.3	52.9	52.9
雇用関連		44.8	41.7	52.1	63.0	61.5

表1-4 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	2.5%	1.1%	4.3%	6.2%	4.1%
やや良くなっている	17.1%	12.4%	29.6%	35.7%	28.2%
変わらない	42.7%	40.8%	45.0%	40.5%	43.6%
やや悪くなっている	24.2%	29.1%	14.6%	11.0%	17.2%
悪くなっている	13.5%	16.7%	6.4%	6.5%	6.9%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移

(DI)



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは32.2となった。前回調査より15.6ポイント低下して、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
合計		<b>43.3</b>	<b>44.9</b>	<b>40.6</b>	<b>47.8</b>	<b>32.2</b>
	家計動向関連	46.3	42.7	40.9	45.7	29.2
	企業動向関連	40.3	51.3	40.8	52.6	38.2
	雇用関連	31.3	31.3	37.5	41.7	31.3

表2-2 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	3.6%	7.4%	1.8%	7.0%	1.7%
やや良くなっている	28.6%	22.2%	16.1%	22.8%	5.1%
変わらない	23.2%	24.1%	41.1%	31.6%	39.0%
やや悪くなっている	26.8%	35.2%	25.0%	31.6%	28.8%
悪くなっている	17.9%	11.1%	16.1%	7.0%	25.4%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは34.2となった。前回調査より11.2ポイント低下して、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
合計		<b>45.6</b>	<b>38.8</b>	<b>50.4</b>	<b>45.4</b>	<b>34.2</b>
	家計動向関連	50.0	38.8	52.1	44.2	29.6
	企業動向関連	41.7	45.0	51.7	46.9	39.3
	雇用関連	25.0	20.0	35.0	50.0	55.0

表2-4 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	3.5%	5.2%	3.6%	3.3%	1.8%
やや良くなっている	29.8%	15.5%	30.4%	20.0%	10.5%
変わらない	31.6%	25.9%	42.9%	46.7%	40.4%
やや悪くなっている	15.8%	36.2%	10.7%	15.0%	17.5%
悪くなっている	19.3%	17.2%	12.5%	15.0%	29.8%

### ③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは38.1となった。前回調査より8.0ポイント低下して、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
分野					
合計	<b>45.6</b>	<b>44.9</b>	<b>42.7</b>	<b>46.1</b>	<b>38.1</b>
家計動向関連	47.1	42.9	35.0	41.4	32.9
企業動向関連	45.8	47.4	54.2	51.4	43.4
雇用関連	35.0	50.0	55.0	60.0	55.0

表2-6 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	1.8%	3.4%	0.0%	3.4%	1.7%
やや良くなっている	26.3%	18.6%	22.4%	25.9%	16.9%
変わらない	29.8%	37.3%	37.9%	29.3%	33.9%
やや悪くなっている	36.8%	35.6%	27.6%	34.5%	27.1%
悪くなっている	5.3%	5.1%	12.1%	6.9%	20.3%

### ② 県南地域

景気の現状判断DIは37.5となった。前回調査より13.4ポイント低下して、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
分野					
合計	<b>42.5</b>	<b>39.7</b>	<b>52.2</b>	<b>50.9</b>	<b>37.5</b>
家計動向関連	39.4	34.6	48.5	51.4	33.8
企業動向関連	46.1	46.1	54.2	48.6	40.8
雇用関連	50.0	50.0	70.0	55.0	50.0

表2-8 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	3.5%	6.9%	5.4%	6.9%	1.7%
やや良くなっている	24.6%	10.3%	30.4%	20.7%	5.2%
変わらない	28.1%	34.5%	42.9%	51.7%	48.3%
やや悪くなっている	26.3%	31.0%	10.7%	10.3%	31.0%
悪くなっている	17.5%	17.2%	10.7%	10.3%	13.8%



### ③ 県西地域

景気の現状判断DIは31.5となった。前回調査より14.6ポイント低下して、横ばいを表す50を30期連続で下回った。

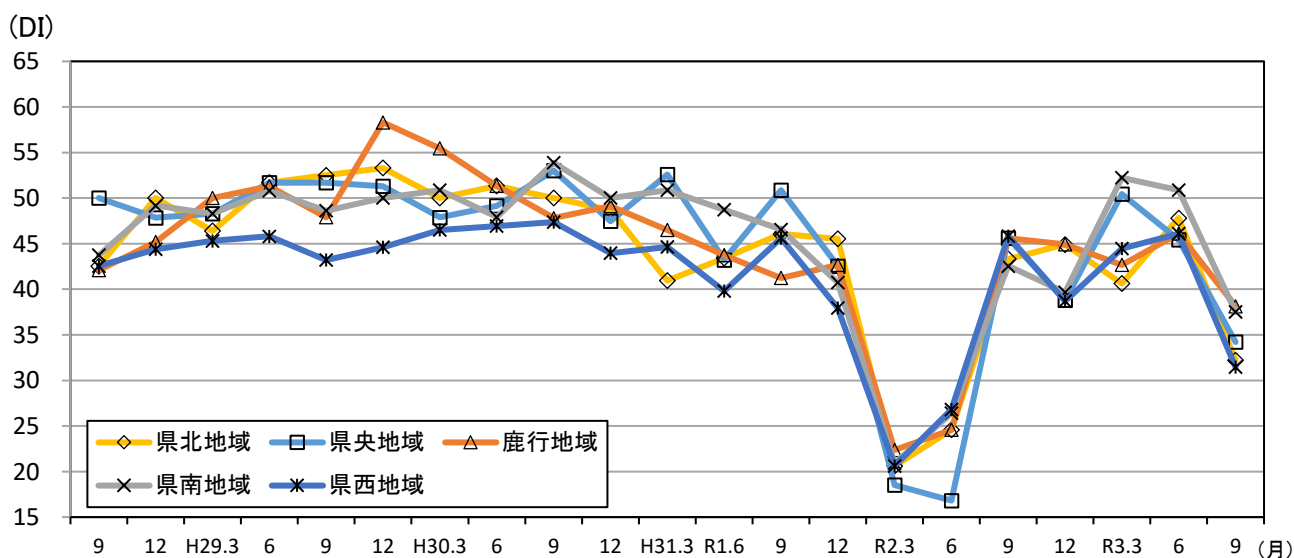
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
合計		45.8	38.7	44.4	46.1	31.5
家計動向関連		43.5	31.7	35.9	37.9	24.3
企業動向関連		44.4	44.4	52.9	55.6	43.1
雇用関連		65.0	60.0	70.0	70.0	40.0

表2-10 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	3.7%	3.8%	0.0%	1.7%	0.0%
やや良くなっている	24.1%	17.0%	31.5%	27.6%	6.9%
変わらない	37.0%	32.1%	27.8%	39.7%	41.4%
やや悪くなっている	22.2%	24.5%	27.8%	15.5%	22.4%
悪くなっている	13.0%	22.6%	13.0%	15.5%	29.3%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	H28.9	H28.12	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3月	R3.6月	R3.9月
県全体	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4	46.1	47.3	34.7
県北	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9	40.8	47.8	32.2
県中央	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8	50.5	45.4	34.2
鹿行	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1	38.1
県南	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9	37.5
県西	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7	44.4	46.1	31.5
全国	45.9	49.3	48.9	51.2	50.3	51.8	50.2	49.8	47.1	45.5	45.5	45.1	44.9	38.3	14.9	40.0	47.8	34.3	49.0	47.6	42.1(季節調整値)
	44.8	51.2	50.6	49.9	49.6	53.9	51.7	48.2	47.3	48.2	46.7	43.3	45.7	40.7	15.9	38.0	48.7	36.5	49.5	45.4	43.3(原数値)

## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

景気の先行き判断DIは50.4となった。前回調査より2.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
分野					
合計	<b>40.2</b>	<b>36.1</b>	<b>46.9</b>	<b>52.6</b>	<b>50.4</b>
家計動向関連	38.2	31.5	50.8	55.0	51.4
企業動向関連	43.1	44.7	40.8	50.0	48.7
雇用関連	43.8	31.3	43.8	41.7	50.0

表2-12 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	1.8%	3.7%	0.0%	5.3%	3.4%
やや良くなっている	10.7%	9.3%	28.6%	29.8%	27.1%
変わらない	42.9%	35.2%	39.3%	43.9%	40.7%
やや悪くなっている	35.7%	31.5%	23.2%	12.3%	25.4%
悪くなっている	8.9%	20.4%	8.9%	8.8%	3.4%

### ② 県央地域

景気の先行き判断DIは51.8となった。前回調査より5.7ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
分野					
合計	<b>46.1</b>	<b>39.7</b>	<b>58.9</b>	<b>57.5</b>	<b>51.8</b>
家計動向関連	50.0	38.8	64.6	57.1	52.0
企業動向関連	40.0	45.0	53.3	57.8	46.4
雇用関連	35.0	30.0	35.0	60.0	65.0

表2-14 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	0.0%	0.0%	1.8%	5.0%	1.8%
やや良くなっている	29.8%	17.2%	46.4%	43.3%	31.6%
変わらない	38.6%	41.4%	41.1%	36.7%	45.6%
やや悪くなっている	17.5%	24.1%	7.1%	6.7%	14.0%
悪くなっている	14.0%	17.2%	3.6%	8.3%	7.0%

### ③ 鹿行地域

景気の先行き判断D Iは51.7となった。前回調査より3.5ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
分野					
合計	<b>46.1</b>	<b>37.7</b>	<b>53.4</b>	<b>55.2</b>	<b>51.7</b>
家計動向関連	44.9	31.4	51.4	53.6	49.3
企業動向関連	48.6	46.1	56.9	54.2	53.9
雇用関連	45.0	50.0	55.0	70.0	60.0

表2-16 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	3.5%	0.0%	3.4%	1.7%	5.1%
やや良くなっている	15.8%	15.3%	25.9%	37.9%	30.5%
変わらない	49.1%	37.3%	51.7%	41.4%	35.6%
やや悪くなっている	24.6%	30.5%	19.0%	17.2%	23.7%
悪くなっている	7.0%	16.9%	0.0%	1.7%	5.1%

### ② 県南地域

景気の先行き判断D Iは55.6となった。前回調査より4.3ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
分野					
合計	<b>39.5</b>	<b>38.4</b>	<b>53.6</b>	<b>59.9</b>	<b>55.6</b>
家計動向関連	37.9	34.6	53.8	62.9	57.4
企業動向関連	38.2	44.7	50.0	52.8	48.7
雇用関連	55.0	40.0	65.0	65.0	70.0

表2-18 回答構成比

	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	5.3%	1.7%	10.7%	12.1%	5.2%
やや良くなっている	15.8%	6.9%	23.2%	32.8%	34.5%
変わらない	35.1%	44.8%	42.9%	41.4%	43.1%
やや悪くなっている	19.3%	36.2%	16.1%	10.3%	12.1%
悪くなっている	24.6%	10.3%	7.1%	3.4%	5.2%

### ③ 県西地域

景気の先行き判断DIは47.4となった。前回調査より7.3ポイント低下して、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

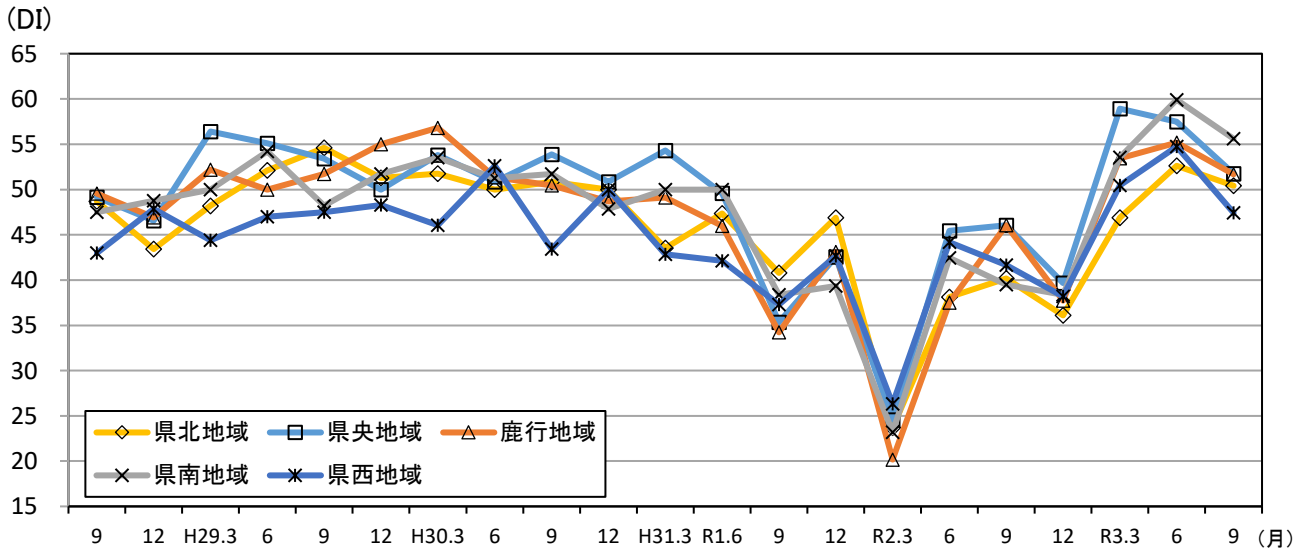
表2-19 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
分野					
合計	41.7	38.2	50.5	54.7	47.4
家計動向関連	41.9	29.2	50.8	55.0	45.7
企業動向関連	40.3	48.6	47.1	50.0	47.2
雇用関連	45.0	55.0	60.0	70.0	60.0

表2-20 回答構成比

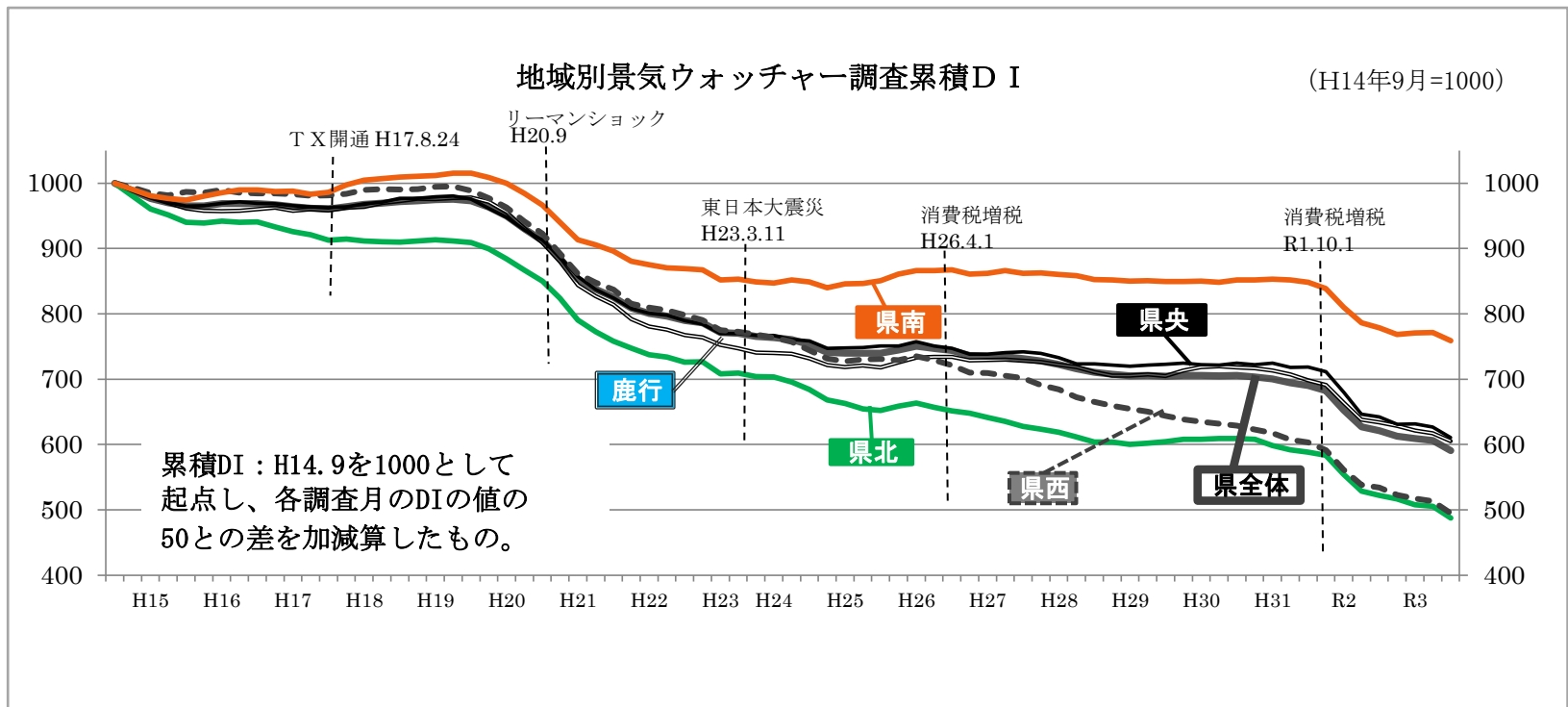
	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
良くなっている	1.9%	0.0%	5.6%	6.9%	5.2%
やや良くなっている	13.0%	13.2%	24.1%	34.5%	17.2%
変わらない	48.1%	45.3%	50.0%	39.7%	53.4%
やや悪くなっている	24.1%	22.6%	7.4%	8.6%	10.3%
悪くなっている	13.0%	18.9%	13.0%	10.3%	13.8%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	H28.9	H28.12	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3月	R3.6月	R3.9月
県全体	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0	52.7	56.0	51.4
県北	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1	47.4	52.6	50.4
県央	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7	58.6	57.5	51.8
鹿行	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7	53.4	55.2	51.7
県南	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9	55.6
県西	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7	47.4
全国	49.4 48.5	49.8 49.0	49.3 49.0	50.8 51.5	51.0 50.4	51.8 51.3	50.7 50.1	50.5 50.9	51.1 50.7	47.3 47.0	48.9 47.9	46.0 46.3	36.8 36.7	44.6 44.5	19.8 18.7	44.6 44.8	47.1 47.1	36.1 36.1	49.8 48.6	52.4 52.6	56.6(季節調整値) 56.7(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	住宅販売会社	住宅需要で、9月末までに契約すると住宅ローン減税の3年延長とすまい給付金が受けられるので、需要が多くなっていることから良くなっていると判断した。
やや良	家計	タクシー運転手	依頼される仕事の量が増えているため、やや良くなっていると判断した。
良	企業	林業関係者	コロナ禍以前の状況に達していないため、活発な取引、動向となっている。どちらかという品薄の状態。
変わらない	家計	スーパー	悪いまま変わらない。相変わらず購入にはシビアで来店客数も夕方以降が減少している。リモートワークも増えている可能性があり、特に平日の仕事帰りの客が少なくなっているように感じる。
		スーパー	スーパーマーケットは、外食自粛のため家庭での食事が増えた事により、売上げが減少する事はないが、だからと言って1年前の緊急事態宣言に比べると、さほど増加はしていない。客は節約して切り盛りしているようだ。
		衣料品販売店	売上げ減、客数減が続いているため変わらないと判断した。
		自動車販売店	昨年来の新型コロナウイルスの影響により厳しい状況は変わっていない。
		小売業 (弁当・惣菜店)	新型コロナウイルスの影響でお祭りや会合、運動会などの行事がなく、その影響は大きいですが、普段の需要に関しては平時の状態ともいえる。コロナ過での生活に慣れてきたのか、持ち帰りが中心だけに普段の売上げは安定している。
		小売業 (時計)	あまり良くない状況ながら、大きく悪い状態ではないため変わらないと判断した。
		日本料理店	飲食店の営業時間が午後8時までと要請されていることが定着しているのか、午後6時以降の来客数が少なくなっている。売上げの前年比も6月頃と変わらないマイナス幅であるので、変わっていないと思われる。
		食堂	売上げが変わらないため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	緊急事態宣言が終わらないと飲食店等がはじまらない。
		ゴルフ場	緊急事態宣言で人の流れが減少している。
	ゴルフ場	8月に全国的な豪雨に見舞われ影響を受けたが、ゴルファーの来場意欲は感染拡大期の健康管理の努力により、4~6月の景気は現在もそのまま推移しているため変わらないと判断した。	
	写真店	売上げや予約に変化がみられないため変わらないと判断した。	
	企業	製造業 (電気機械器具)	前年と比べ、特に変わった傾向はみられない。
製造業 (電気機械器具)		液晶、半導体製造装置関連において受注や引合いが増えてきた。ただ自動車関連やエネルギー関連においては依然として少ない状況である。全体をならせば大して変わらない状況である。	
製造業 (化学工業)		緊急事態宣言等が再び発出された事もあり、経済活動は停滞しているため変わらないと判断した。	
製造業 (電気機械器具)		良くも悪くもなく3か月前と同じく推移しているため変わらないと判断した。	
製造業 (一般機械器具)		生産量において前年度ベースと差がほとんどないため変わらないと判断した。	
製造業 (精密機器)		量産は減っている。なぜかという物が入ってこないということである。また、新しい仕事がち立ち上がったので横ばいになっているため変わらないと判断した。	
運輸業		顧客製品の出荷台数も横ばいでそれほど変わらない状況である。	
不動産業		不動産全般に関して、個人の不動産購入に変化はあまりない。一方、コロナ禍のため、商業施設・テナントの賃料減額要求、オフィスの再整備による面積減の影響が継続している。	
運輸業 (精密機器運送)	緊急事態宣言が発出され、ますます動きに制限がかかり、仕事にも影響が出ている。		

変わらない	雇用	公共職業安定所	前年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により求人が落ち込んでいたが、今年は回復傾向にある。半導体（電子機器）の需要が高まっている。半導体原材料製造業や災害復旧作業などで需要が高まった電気機械器具製造業からの求人は多い傾向にある。
		求人開拓員	県北地区管内における有効求人倍率は、昨年9月の0.74まで減少した以降は、やや持ち直しているものの本年7月時点で、1.00と厳しい状況が続いている。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	人通りが回復しない。週末の駐車場も空きが多くなっているためやや悪くなっていると判断した。
		スーパー	客1人当たりが購入する点数が減少している。割安感のある商品があれば多少は買ってくれるかもしれないがシビアである。最近も年配の方は2人での買物が多くみられ相談しながら買っている。
		小売業（燃料）	ガソリン等の販売数量は6～7月と比べ減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		日本料理店	緊急事態宣言が発令され、夕方以降外出する客が減ってきた。昨年より全体的に低くなったと感じるため、やや悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	6月時点では発令されていなかった国の緊急事態宣言や県の非常事態宣言などの影響で、客を迎え入れることができない状態のため、やや悪くなっていると判断した。
		旅行代理店	緊急事態宣言により移動を控える傾向が強くなり、キャンセルが多発したため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	緊急事態宣言により飲食店等の利用もほとんどない状況。売上げも良い時の半分以下で不安材料ばかりであるため、やや悪くなっていると判断した。
		ドライブイン	緊急事態宣言により他県ナンバーの来客が減少しているが、県南からの客や栃木県からの客が多い始末。土曜、日曜は宣言下でもわりと人が動いていると感じる。前年比で今月は売上げ・客数ともに90%前半となっていて、3か月前は100%以上だったことをふまえるとやや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	県内でも緊急事態宣言により、休業せざるを得ない店舗等の諸施設が多いため、やや悪くなっていると判断した。
		ゴルフ場	まん防及び緊急事態宣言の長期化に伴った営業制限によりやや悪くなっていると判断した。
		写真店	新型コロナウイルスの影響がまた拡大し、仕事が延期となり先が見えないため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	水産業関係者	新型コロナウイルスの影響としか言えないが、自粛や休業での影響が顕著にみられるため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（食料品）	購買数、購入金額が減少傾向のためやや悪くなっていると判断した。
建設業		客や取引先から新型コロナウイルスの影響が強くなってきており、活動が鈍くなっているという話を聞くようになったので、景気はやや悪くなっていると思う。	
金融業		緊急事態宣言の発出により、飲食業・サービス業は休業や時短営業の対応で売上げが大きく減少している。製造業は、重電関係の案件停滞から受注減、先行き不透明感が強い状況のためやや悪くなっていると判断した。	
雇用	情報通信業（情報サービス業）	半導体不足と新型コロナウイルスの影響により、ハードウェア納期に影響が出ているためやや悪くなっていると判断した。	
	学校就業関係者	求職者（失業者）の就職内定状況が低調であるためやや悪くなっていると判断した。	

悪くなっている	家計	商店街代表者	緊急事態宣言により悪くなっていると判断した。
		酒・各種商品小売業	緊急事態宣言の発令により飲食店での酒の販売終日禁止となった。飲食店には協賛金が出るため、飲食店によっては喜んでいる店もあるのに対し、酒店には何もない。コンビニやドラッグストア、スーパーなら家呑みで売上げが上がるかもしれないが、純粋な酒店のほとんどは飲食店への卸しで成り立っているのでもの凄く厳しい状況のため悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	学校や会社など人が動いていないため売上げが厳しい。時短により夜の人出が少ないため悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	天候不順や近隣に競合店ができたため悪くなっていると判断した。。
		小売業（酒類）	緊急事態宣言により得意先の飲食店が休業になり、当店も開店休業であるため、悪くなっていると判断した。
		小売業（水産物）	新型コロナウイルスの緊急事態宣言発令もあって以前から客数が減少していたが、より減少し売上げも伸びない。他県からの客足も伸びないため悪くなっていると判断した。
		レストラン	新型コロナウイルスの影響によりどの位先になれば景気が回復するのかという心配をする客が多い。
		スナック	新型コロナウイルスの影響により悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	デルタ株による新型コロナウイルスが悪化の一途をたどり、夏休みを含め営業上数値実績を含め最悪と言っていい状況である。2019年対比70%減という状況なので悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	緊急事態宣言下で外出を控えることにより、タクシー利用が大幅に減少した。飲食店が営業自粛で店を閉めているため悪くなっていると判断した。
	ボウリング場	自粛中のため客足が悪い。	
	企業	製造業（電気機械器具）	発電設備の製作をしているが、徐々に業務量が少なくなっており、品質よりも安い海外製品へシフトしているから、悪くなっていると判断した。
		製造業（食料品）	コロナ禍の影響により悪くなっていると判断した。
		製造業（輸送用機械器具）	米州及び日本の自動車市場は緩やかではあるが、回復基調、中国市場は堅調な回復となっている。一方で、マレーシア、ベトナム等における新型コロナウイルス拡大に伴うロックダウンの影響により、グローバルでの半導体供給不足等、搭載製品の売上げ減少リスク継続、予断を許さない状況にあるため悪くなっていると判断した。
雇用	求人広告	緊急事態宣言の影響が大きいと悪くなっていると判断した。。	

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(精密機械器具)	市場の動きがあり、数か月前から受注状況が好転して来たが、その影響もあり9月の売上増につながっていると思われる。
やや良くなっている	家計	スーパー	緊急事態宣言により、3か月前よりは夕方から夜間の客数増のためやや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	6月の時よりも現在のほうが緊急事態宣言が広く(茨城県含)出ているが、客の動きとしては現在のほうが動いている。
		観光名所	3か月前と比べて客単価が伸びているので、景気はやや良くなっていると判断する。
		ペット美容室	季節要因によりやや良くなっていると判断した。
	雇用	公共職業安定所	新規求人数が対前年同月比で令和3年3月から増加になっている。また、有効求人数は対前年同月比で4月から増加になっている。新規求職者が対前年同月比で6月から減少している。有効求人数は7月より減少している。有効求人倍率は対前年同月比で6月より増加している。
学校就業関係者	コロナ禍において飲食・観光・製造等の業界は大きな打撃を受けている一方、オリンピックによる需要増や、安定した業界においては順調な業績をあげている企業も数多いと聞いている。		
変わらない	家計	小売業	3か月前の前年比も今月の前年比も10~15%ほど落としておりあまり変わらない。
		スーパー	売上高、客数ともに3か月前と変わっていない。購入する商品も3か月前同様に買い控えているようなので変わらないと判断した。
		小売業	コロナ禍の影響で旅客が戻らないため変わらないと判断した。
		自動車販売店	客動向と実績を鑑みるとさほど変わらないと思われる。
		農産物直売所	来場者の客層は変わりがなく、売れている価格帯も同じ傾向にあるため変わらないと判断した。
		都市型ホテル	客数や売上げなど新型コロナウイルスの感染状況と連動した数値になっている。
		旅行代理店	ワクチン接種はすすんでいるが、新型コロナウイルスの状況は良くなっていない。
		タクシー運転手	コロナ禍でなおかつ緊急事態宣言中になっているため、3か月前と比べても状況は何も変わらず非常に厳しい状況である。
		タクシー会社	売上げ、営業回数ともに大きな変動が見られないため変わらないと判断した。
		タクシー会社	新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発出され、市場の反応は大きく影響を受けている。飲食店等の時短営業により、夜の飲食制限があり人出が減少し不要不急の外出制限による影響も多大なものがある。
		観光名所	営業していないので人の流れはない。
		理・美容店	コロナ禍になってから年配の来店客が少なくなった。現在もその状況は全然変わらない。
		設計事務所	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により、外出することが一段となくなっている。
		企業	製造業(金属製品)
	製造業(一般機械器具)		半導体不足やコロナ感染拡大の東南アジアから部品が入らないので、自動車の生産停止や減産になっている。ティア1、ティア2との取引があるのでその影響が出ている。
	運輸業(道路貨物運送業)		半導体不足による部品在庫増の影響で主要取引先への原料納品が減少し、原料在庫が微増となっているが、全体的にみて大きな変化は見受けられない。
	金融業		ウィズコロナとして各業種とも創意工夫しながら営業しており、設備資金(店舗の建設等)が方々で見られる。また、車業界も好転しつつある。飲食業界は二極化しており、元々テイクアウトをやっていた店舗は強いと感じる。
不動産業	新型コロナウイルスが蔓延し緊急事態宣言が再発令となり、良くなりそうな兆しが見えたが先延ばしになっていると思うので変わらないと判断した。		
サービス業(コンサルタント業)	3か月前とあまり変化がない。		
雇用	人材派遣業	ここ数か月現状維持が続いているため変わらないと判断した。	
求人開拓員	当就職支援センターにおける求人数及び求職者数に大きな変化は見られない。		
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	非常事態宣言下となり、日常生活の制限が続いて人々の活動が鈍くなっていると感じる。
		小売業	8月20日からの緊急事態宣言の発令、多店舗での新型コロナウイルスのクラスターの発生等が来店を控える動機となり、厳しい状況にさらに追い打ちをかけた。
		スーパー	茨城県の非常事態宣言、国の緊急事態宣言により全体的に落ち込み、特にファッション・雑貨の売上げが下がった。また、お盆期間も帰省客が少なかったため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	自粛で来店客が減っている。
		バス運転手	緊急事態宣言の発令により、バス利用者の減少のみならず、繁華街を歩く人の数、市中を走る自動車の台数も少ないように感じるためやや悪くなっていると判断した。
		スーパー銭湯	9月来館者の見込みは6月対比95%、昨年6月対比で85%、一昨年対比で55%である。9月の緊急事態宣言発令下で営業時間が20時(通常は23時)迄となったことで夜の来館が伸びない結果となったため悪くなっていると判断した。
		設計事務所	設計の計画や予定のような話はあるが、建設物価の上昇を含めて計画の先送りや延期もあり、受注件数の減少が見られるため悪くなっていると判断した。



やや悪	企業	製造業（印刷・同関連業）	コロナ禍の影響を受けており、3か月前に比べ売上げも含め悪くなっている。
		工務店	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響により、経済活動が停滞している。
	雇用	求人広告	新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きいと判断した。
悪くなっている	家計	小売業	今月は秋物商戦の本格的なスタート月であり、月初より顧客向けの全館催事を立ち上げて対応しているが、緊急事態宣言下での商況は厳しく入場規制措置の対応もあり、入店客数が大幅に低迷している。また滞留時間、客単価も下降しており売上高については前年比と3か月前の6月の前年比を比べると今月の進捗状況が悪化していることから、景気は悪くなっていると判断した。
		割烹料理店	緊急事態宣言発令中により営業が困難なため、テイクアウト営業を実施しているが売上げが減少するのは否めない。
		スーパー	緊急事態宣言により景気がだいぶ悪くなっている。買上げの商品数、金額ともに減っている。
		家電量販店	新型コロナウイルスの影響で悪くなっていると判断した。
		楽器販売	街中全体ではないかもしれないが、弊社の来店客数が半分程に減少している。6月末から急激に人の流れが停滞しているためやや悪くなっていると判断した。
		レストラン	緊急事態宣言によりアルコール提供不可、時短営業のために悪くなっていると判断した。
		レストラン	新型コロナウイルスによりキャンセルや予約が入らない状況が続いている。
		割烹料理店	飲食業はアルコールが出せないので売上げは低迷のままのため、悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	アルコール販売ができない等の規制があり、来客数が以前より減少し、宴会予約は会議以外はなく大きく減少している。レストラン等は特に夜が最も悪い。
		旅行会社	コロナ禍により茨城県は緊急事態宣言が発令され、学校関係のバスがすべて中止になっているため悪くなっていると判断した。
		道の駅	人の動きが少なく、ひとりひとりの消費額が凄く減ったと思うので悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県独自の非常事態宣言により、施設が約1か月半休館措置となり、3か月前より格段に悪くなっている。経済活動が出来なくなっているため、いつまでこの状況が続くのか心配である。
		スーパー銭湯	緊急事態宣言による時短要請もあり、自粛による来店機会の減少や、時短営業により間に合わなくなり来られなくなってしまった方などがみられるため悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により施設の休館を余儀なくされ、3か月前や過去の同月と比べ施設利用者の数は大幅に減少している。また、施設を利用する客の中には会社を運営されている方がいるが、多くの方から厳しい状況であるという旨の話を聞くためやや悪くなっていると判断した。
企業	製造業（食料品）	特に外食関係は新型コロナウイルスの影響が色濃いため悪くなっていると判断した。	
	製造業（窯業・土石製品）	受注が激減している。	
	建設業	ウッドショックにより木材が入ってこないため価格が上昇している。コロナ禍で打合せ等が気安くできない。	

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	雇用	民間職業紹介業	業務の依頼が増えてきているため、良くなっていると判断した。	
やや良くなっている	家計	都市型ホテル	宿泊の予約が以前よりだいぶ入ってきているためやや良くなっていると判断した。	
		ゴルフ場	以前に比べ高めの料金でも来場者が来るようになってきているためやや良くなっていると判断した。	
		レジャー施設	海水浴場閉鎖、周辺の屋外プール開設中止などにより来館者数が前年を上回った。夏休みや猛暑も重なったことで週末家族連れが多く見られた。また、ワクチン接種が進んだこと、首都圏の緊急事態宣言解除により人の動きが多くなり景気の回復が感じられた。	
		理・美容店	新規客が増えている。	
	企業	農業関係者	野菜の販売単価が上向いてきたり、消費者の購買意欲も良くなっていると思われるためやや良くなっていると判断した。	
		建設業	僅かに受注が増えてきた。	
		運輸業（道路貨物運送業）	日々の仕事も安定してきたため変わらないと判断した。	
		運輸業（道路貨物運送業）	業績面の推移から、昨年落ち込みも昨年末で下げ止まりの状況になり、徐々にではあるが回復傾向にある。前の3か月と比較しても若干増加傾向になっているためやや良くなっていると判断した。	
	雇用	公共職業安定所	製造業を中心に新規求人数は増加している。反面、緊急事態宣言等の影響により宿泊、小売り等の業界の求人は回復していない。また、収入減等から新規求職者も増加している。今後は緊急事態宣言の延長、新型コロナウイルスワクチンの接種率の向上に左右される。	
	変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスが市中においても感染者が連日のように報告され、ワクチン接種についても身の周りでも接種された方が大分増えてきているが、急激な感染者の増加のためか飲食店舗等の駐車場には普段より車があまり止まっていない感じもする。また、夏休みにも関わらず外出している学生の姿もあまり見かけることがない。自粛生活が影響しているためではないかと思う。
スーパー			今月の売上げ前年比と6月の前年比を比べると変化がない。	
スーパー			コロナ禍の巣ごもり需要による特需が薄まっており、直近で発令された緊急事態宣言下でも需要に大きな変化が見られない。天候不順により青果の相場高により客単価が増加しているが、非食品の衛生関連商品（マスク、アルコールスプレー）の落ち込みは続いており、プラス要素とマイナス要素が相殺して現状維持という結果となっているので景気は変わらないと判断する。	
コンビニエンスストア			緊急事態宣言により、近隣の飲食店は早い時間に閉店しているため客数は減っているが、客単価が上がっているため変わらないと判断した。	
家電販売店			前年は新型コロナウイルスの影響があり、比較するのは難しいが、平均的に見て状況に大きな変化は見られないと判断した。	
農産物直売所			新型コロナウイルスで外出が少なくなり、来店数が減っている。	
小売業（薬品店）			売上高、客数ともに前年比で同程度のため変わらないと判断した。	
旅行代理店			旅行の申し込みがほとんどない状態のためやや悪くなっていると判断した。	
ゴルフ場			自業種では、客の来場数や単価に変化が見られないと感じた。	
住宅販売会社			弊社は住宅の新築・リフォームの設計・工事監理をしているが、問合せ件数が増えていない状況のため変わらないと判断した。	
住宅販売会社			良くも悪くも変化がない。	
企業			製造業（化学工業）	生産状況は3か月前と比べ、今月も大きな増減がないことから、景気は横ばい状態が続く変わらないと判断する。
			製造業（鉄鋼業）	経営状況は引き続き好調を推移している。
	製造業（金属製品）	新型コロナウイルス対策により、部品調達がスムーズに行われないため変わらないと判断した。		
	建設業	茨城県にも緊急事態宣言が発令されており、3か月前と人の流れが変わらない。		
	金融業	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の期間延長に伴う外出制限により、小売業や飲食業、観光業等の個人消費関連が伸び悩んでいると感じる。		
	保険業	交通事故の減少で自動車保険の見直しに意識がなくなっている。		
	サービス業	今夏の新型コロナウイルスの感染状況から再度受注が低下するのではないかと懸念していたが、前四半期とほぼ同等であり、一時期に比べて改善してきている。		
雇用	人材派遣業	新規案件の問合せ等が例年までとはいかないが増えてきているため変わらないと判断した。		

やや悪くなっている	家計	小売業（薬品店）	新型コロナウイルスの終息が見えず、患者の受診抑制が続いている。長期投与の影響で外来患者が減少しているためやや悪くなっていると判断した。
		小売業（食品）	新型コロナウイルスと緊急事態宣言の影響によりやや悪くなっていると判断した。
		小売業（書店）	主力商品の連載が終わったため、店舗への来店数が減少したためやや悪くなっていると判断した。
		和食レストラン	緊急事態宣言発令に伴う外出自粛や営業時間短縮、外食等の自粛による影響により悪くなっていると判断した。
		洋食食堂	酒類の販売を止められ、営業時間の短縮も求められて良くなるはずもない。
		観光型ホテル	例年であればサッカーの大会等で宿泊者数が伸びるのだが、9月12日まで緊急事態宣言が延びたことにより、予約がほぼキャンセルになってしまったためやや悪くなっていると判断した。
		道の駅	新型コロナウイルスにより観光客の利用者が減少しているためやや悪くなっていると判断した。
		クリーニング店	緊急事態宣言が出たので、行事やサークルが中止になっているため人の動きが鈍くなっている。それが目的なのだから仕方がない。
企業	製造業（精密機械器具）	緊急事態宣言の長期化によりやや悪くなっていると判断した。	
	製造業（食料品）	1年半以上も続くコロナ禍で県民もコロナ疲れだと思ふ。業種による不況だけではなく、負の連鎖が起こらないようにしたい。	
	製造業（電気機械器具）	主取引先の自動車部品関連が、新型コロナウイルスの影響による需要の落ち込み、海外物流の遅延、半導体不足などにより、生産調整が入り、受注が減少しているためやや悪くなっていると判断した。	
	不動産業	テナントのリフォームを発注してトイレを1か所付加したのだが、新型コロナウイルスの影響により品物の入荷に1か月から50日位かかってしまうとのこと。国内メーカーの輸入品である。また木材その他鉄製品等に入荷不足や値上がり等があり建設関係はだいぶ悪いと思ふ。	
雇用	学校就業関係者	学生の内定状況が、少し悪化している気がする。昨年であれば内定の学生が、落とされているように思う。	
	求人開拓員	政府等の発表によると、大企業等の景気は改善されていると報告があるが、当地区での出張相談で最近特にみられる傾向はコロナ禍による生活困窮者の増加傾向である。その内訳は住居確保給付金や新型コロナウイルスによる生活困窮者自立支援制度等の相談、活動証明押印を求める求職者の増加である。また、市の福祉課の担当者も生活保護の申請が増加傾向にあるとのこと。	
悪くなっている	家計	衣料品販売店	緊急事態宣言の継続で旅行や遠くに外出をしない。家にいたり近所のスーパーに行くのにはおしやれをしない。
		農産物直売所	客数及び、売上げが落ちているため悪くなっていると判断した。
		小売業（菓子類）	新型コロナウイルスの感染者が増え外出自粛の影響がここに来てかなり大きい。悪くなっていると判断した。
		割烹料理店	新型コロナウイルス感染者数も減らず、緊急事態宣言も解除されず、良い訳がない。
		日本料理店	現在は緊急事態宣言により時短営業で営業時間が少ないし、ランチも減ってしまってるので悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	茨城県に緊急事態宣言が出され、予約のキャンセルや休館もかなり増えたため3か月前と比較して今月の景気は悪くなっていると思ふ。また、周りの施設でも同じ傾向にあるという話を耳にするため景気は悪くなっていると思ふ。
		運転代行	3か月前と比較して今月は新型コロナウイルスの影響で全く売上げがないため悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響で客足が落ちている。東京発の路線バスの状況により大きく変化する。新型コロナウイルスが減少しない限り景気は上向かないと思ふ。
企業	不動産業	賃貸に関しては昨今のコロナ情勢もあり、客足が落ちていると感じる。	
	サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスによる非常事態宣言で景気が悪くなっている。	

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	建設業	今月は公共工事が順調に出てきている時期なので、工事受注が多いのは毎年のことである。しかし、今年は前年度の倍近い工事受注がある。よって、景気は良くなっていると判断する。
やや良	家計	タクシー運転手	以前よりも予約のお客様が多少なりとも増えてきている。
		ボウリング場	ワクチン接種が進んでいる影響か以前よりは人の流れが出てきていると感じる。
	雇用	民間職業紹介業	取引先からの受注増により、やや良くなっていると判断した。
変わらない	家計	スーパー	客数、売上高ともそれほど変わりがない。
		スーパー	客数、売上げとも前年比マイナスになっている。商品の値上がりもあり、消費意欲が下がっている。
		スーパー	客単価や点単価はほぼ横ばいで推移しているため変わらないと判断した。
		コンビニエンスストア	客数、客単価ともに横ばいに推移しているため変わらないと判断した。
		コンビニエンスストア	遠出はなく行楽客は少ないが、近場での動きは少しある。総合するとさほど変化はない。
		農産物直売所	新型コロナウイルスの影響で大型スーパーへ行けない分、売上げは上がっているが単価が低い。
		小売業（生花店）	つくば市内のTX沿線振興地域は、事業所や店舗の新規出店が増えているが、その他の周辺市町村は変化が少なく思える。新型コロナウイルスの影響もあり、市街地の賑わいが消えている。
		和食食堂	売上げが横ばいのため変わらないと判断した。
		都市型ホテル	現在と3か月前を比較して、レストラン、宿泊の集客、宴会獲得・キャンセルの動きは引続きあり、景気としては変わらないと思う。観光、ホテル業は新型コロナウイルスがまん延してからは、サービス業としても底辺の売上げ状況なので、これ以上上がることはないと思われる。雇用の確保だけでもひっ迫している。
		タクシー運転手	売上高について、当月と3か月前を比較して同程度で推移している。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響が続いており、緊急事態宣言発令中の最中では人の流れがない。高齢者のワクチン接種が2回済んだ人はある程度の感染の不安解消になっているようだ。
	タクシー会社	緊急事態宣言のためまた出歩く人が少なくなった。	
	レジャー施設	緊急事態宣言延長に伴い、業務等が行えない場合も多く一時的な不況感はあるものの、ワクチン接種率の増加、制限緩和の兆しが見えてきたことによる、希望的な景気感もあるため、どちらとも言えない現状である。	
	企業	農業関係者	9月期（初旬まで）の乗客数・客単価を6月期と比較すると、両者ともほぼ変わりはない。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	小売向けはネット通販が堅調に推移している。来客数は元々多くはないが、キャッシュレス事業者のキャンペーンを通じての来店があるのでそんなに変わらない。業者向けは、ホテルからの注文は減少した。対して小売業向けや一部の飲食店向けの注文が増加しているので相対的に売上げは変わっていない。
		製造業（窯業・土石製品）	前年度と大差ないため変わらないと判断した。
		製造業（食料品）	客数・客単価とも低水準で変わらない。
製造業（飲料）		変化は感じられない。	
製造業（その他）		仕事はあるのだが量を減らしてしまったため変わらないと判断した。	
製造業（窯業・土石製品）		会社業績に変化はない。	
製造業（一般機械器具）		新型コロナウイルスの影響なく事業が継続できている。	
建設業		ウッドショックの影響で木材の入荷、価格高騰で受注が薄いため変わらないと判断した。	
運輸業（倉庫業）		貨物の動きに大きな変化が見られない。	
雇用	金融業	昨年夏は『GoToEat』、『GoToトラベル』等のキャンペーンもあり消費喚起につながる施策があったが、今年度は何もなく、また新型コロナウイルス感染拡大の影響に加え、長雨などの天候不順が重なり、引続き人流が停滞しており、個人消費の動きが鈍い状況が続いている。	
	公共職業安定所	製造業では海外経済が回復して引き続き改善の動きが見られる一方、サービス消費では新型コロナウイルスの影響により、引き続き厳しい状況にあるため変わらないと判断した。	
	学校就業関係者	業務の関係から、学院生の求人・就職状況からの判断となるが、例年同様に求人数もあり、就職も決まっているため変わらないと判断した。	
	求人開拓員	企業からの求人が横ばいである。	

やや悪くなっている	家計	家電販売店	客数は減少傾向にある。昨年の特別給付金などで、すでに購入を前倒した客がかなりいるためではないかと推測している。
		小売業	県の非常事態宣言と国の緊急事態宣言の発出に伴い外出自粛により、来館客数及び売上げが低下しているためやや悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	今は小売業よりチェーン店に人、売上げが流れている。私も小売業で高齢者の味方なのだが大型店、チェーン店に行ってしまう。
		小売業（米穀）	今回の緊急事態宣言が、一番厳しかったように感じている。今迄の緊急事態宣言では、茨城は大丈夫という認識だったのか、コロナ感染者が増えて来てそう思ったのか解らないが人の動きが少なく感じた。休業の店舗も過去最高だった。
		タクシー運転手	オリンピックにより一時的な景気の回復は見られたが、反動による新型コロナウイルスの感染拡大が巣ごもりを加速させ、タクシー利用の減少に繋がっている。夜の時間帯の人出が皆無のため時短営業をせざるを得ない状況に陥っているのでやや悪くなっていると判断した。
		サービスエリア	7月頃までは緩やかな回復傾向も見られたが、緊急事態宣言の発令やオリンピックによる高速道路の規制、週末の台風の接近等マイナス要素が多く、客の利用は例年に比べ大きく減少している。
		ゴルフ場	予約者の直前キャンセルが増加している。緊急事態宣言の延長などにより徐々にプレー回数が減っているように思える。
		ゴルフ場	3か月前はコロナ禍が落ち着いてオリンピック等も実施の予定で人の動きがあり、来場者も増えていた。現在は緊急事態宣言も延長され、昼のアルコールも禁止、不要不急の外出を控えているためサービス業には厳しい状況だ。
		テーマパーク職員	8月からの緊急事態宣言、また茨城県の非常事態宣言の影響により、アルバイトやパートの方は仕事が減り、社員でも休業を余儀なくされ、収入面で厳しい状況の方が多く感じる。幣施設でも来場者が減り、人件費を下げなければならず、出勤させてあげたいが厳しい時期も出ている。接客業なので、客と世間話をすることもあるが、職種によってはこの8月9月で収入が3か月前の半分以下になっている事業も多々ある。
		理・美容店	新型コロナウイルスの影響で客の来店間隔が伸びて月間売上げが減少しているためやや悪くなっていると判断した。
	設計事務所	新型コロナウイルスによる景気停滞で所得が増えず引合数も少ない状況のためやや悪くなっていると判断した。	
	その他	閉店した店舗を目にするためやや悪くなっていると判断した。	
	企業	製造業（印刷・同関連業）	受注数（件数、数量）が減少し、同業他社からも同様の話を聞くためやや悪くなっていると判断した。
製造業（窯業・土石製品）		新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発せられ、顧客への訪問を控えたり、訪問先で感染者が発生したりしているためやや悪くなっていると判断した。	
不動産業		相変わらずコロナ禍の影響も考えられ、例年だと繁忙期の入り口の時期だが芳しくない。	
建設業		資材の値上がりもあり改修工事の検討も考え中なのではないか。利益率は減少傾向である。	
不動産業		コロナ対策により人流は減少しているので全体的にはやや悪くなっていると感じる。仕事の変わりはない。	
雇用	求人広告	県内ではこれまでにない新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外出する人や営業を自粛する店が増えてきたと思う。様々な業種の方と話していても、以前より「何かにお金をかけること」に対して慎重になっている印象がある。	
家計	洋食食堂	緊急事態宣言が発令されてから悪くなっている。3か月前は予約の入りが普通だった。お盆月は県外から集まる家族のイベント等のキャンセルが多かった。	
	寿司店	営業時短や酒類の終日停止などで店に客がこない。来てもアルコールなしで帰る。電話でも酒が飲めるかなど問い合わせがあるが断っている。	
	都市型ホテル	7～9月は閑散期であるが、例年、宿泊、宴会で利用していただいている客の利用が全くない状況である。新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令されたためであるが、過去にないくらい状況は悪いと感じている。	
	都市型ホテル	何と言っても新型コロナウイルス問題が原因である。緊急事態宣言、時短営業、外出自粛、他県をまたぐ移動は自粛等々。宿泊施設にとっては致命傷とも言える程の景気の悪さだ。3か月前も景気が悪かったので景気の悪さががずっと続いている状態である。	
	理・美容店	空き店舗があるため悪くなっていると判断した。	
企業	農業関係者	米の民間在庫量が年々増加している上、コロナ禍による緊急事態宣言により飲食店等が時短営業している事から、米の消費が一層減退しており、米価が前年と比較して1俵3,000円下落している。	
	製造業（非鉄金属）	半導体供給不足に加え、コロナ禍による東南アジアの部品供給不足によって取引先の減産・操業停止が発生。弊社の減産も余儀なくされたため悪くなっていると判断した。	

悪くなっている

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良	家計	ゴルフ場	季節的な影響もあるが、来場数が伸びているためやや良くなっていると判断した。
		設計事務所	仕事の話が増えているためやや良くなっていると判断した。
	企業	製造業（化学工業）	パソコン、スマホ、IT通信インフラの需要好調が継続し電子材料製品の受注好調によりやや良くなっていると判断した。
		不動産業	個人の住宅を建てる土地を探している来客が多くなってきている。
変わらない	家計	スーパー	来店客数が減り、1回当たりの買上げ金額は増えているがトータルでは横ばいの売上げ状況である。
		農産物直売所	青果物の単価上昇に伴い売上げは増加したが、売上げ点数は横ばいもしくは若干下降気味のため変わらないと判断した。
		旅行会社	本来であれば徐々に景気上向きのはずだが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令中のため消費行動にストップがかかっているような気がするため変わらないと判断した。
		道の駅	緊急事態宣言が延長され客数増にはつながりにくいと思うので変わらないと判断した。
		ゴルフ場	緊急事態宣言が発令されていながらも来場者数の影響はない。ただ、レストラン利用率は低下している。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの影響が続いていると思われるため変わらないと判断した。
		理・美容店	コロナ禍にも慣れてしまっている感じがする。ある程度、業績も回復し高止まりしてる。
		商店街代表者	恒例の夏まつり（お神輿、花火大会、盆踊りなど）が昨年引き続いて中止となり、商店街が全般的に盛り上がり欠けた。また、新型コロナウイルス第5波の影響による緊急事態宣言により、飲食業の一部では来店客数が減少し、厳しい状況が続いている。また小売業・サービス業では外出自粛に関連する業種の低迷が続いているためやや悪くなっていると判断した。
		設計事務所	景気が悪いままの状況に変わりはない。
	企業	畜産業関係者	特に変化はない。
		製造業（食料品）	景気が良くなる要素がないので変わらないと判断した。
		製造業（窯業・土石製品）	ある程度回復してきた中で、受注数において増加も減少もしていないため変わらないと判断した。
		製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響と、材料の値上がりや入手困難が今もなお続いており、状況は変わっていない。
		製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言により人の流れが抑えられ、それに伴い景気も良くない状態が続いている。
製造業（窯業・土石製品）		良くもないが特に悪くもないため変わらないと判断した。	
製造業（電気機械器具）		コロナ禍ではあるが、職場からの人員減員要請はないため変わらないと判断した。	
建設業		特に変化を感じないため変わらないと判断した。	
金融業		運送業及び建設業等、主要業種の受注状況は変化なく推移、景気は変わらない状況にある。	
雇用	サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルスの影響が大きいため変わらないと判断した。	
	人材派遣業	人材の募集依頼が増えてないので変わらないと判断した。	
	人材派遣業	過去3か月と比較して派遣依頼件数があまり変化しなかった。感覚ではあるが求人数も過去3か月と比較して大きく変動していないため変わらないと判断した。	
	学校就業関係者	企業からの求人受付件数が、昨年度と変わらない。	
	求人開拓員	管内事業所の求人状況、あるいは当就職支援センターへの求職相談者の状況を見ていると特徴的な変化が見られない。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	客単価が下がっているためやや悪くなっていると判断した。
		スーパー	買控え、外出控え、最低限必要な物のみ購入の傾向によりやや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	コロナ禍と雨によりやや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	緊急事態宣言の継続に加えて、例年のない天候や気温の推移により来店客数の減少幅が大きくなっている。結果として売上げが厳しい状態になっていると考える。
		家電販売店	要因として、地域振興券により一時的に盛り上がった消費も利用率が徐々に減少している。昨年は9月も暑くエアコン、冷蔵庫中心とした白物家電が好調であったが、その反動で昨年比、3か月前比とも徐々に売上げが減少している。
		自動車販売店	半導体などの部品供給の遅れなどから、納期がかかり売上げに結びつかないためやや悪くなっていると判断した。
		レストラン	茨城県は9月12日まで緊急事態宣言の中にあるが、私の町では飲食店においては9月12日以降も最低でも時短要請が行われると思うので、売上げは思うように伸びないと思う。レストランだが酒を飲みたいと思う常連もいて、酒の提供がないと店に来ない客や夜8時までだと来ない客もいる。
		日本料理店	緊急事態宣言が発令され客足が止まった。
		道の駅	茨城県の非常事態宣言や国の緊急事態宣言により客の外出自粛等があり客の数が減っている。また、必要最低限のもの以外の購入も減っているように感じるためやや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	来館者数が減っている。緊急事態宣言が出され、ある程度外出を自粛していると思われるため変わらないと判断した。
企業	製造業（非鉄金属）	海外で新型コロナウイルスが感染拡大しロックダウンになっているため、半導体の部品不足により客先の生産量調整が発生したため変わらないと判断した。	
	製造業（金属製品）	見積り依頼などが少ないためやや悪くなっていると判断した。	
	建設業	請負工事の量も少なく、売上げも3か月前よりも減少しているため利益率も悪いためやや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	確実に悪い。当店は8月の売上げ前年比50%減であった。
		衣料品販売店	外出を控えているため来客数が減っている。
		メガネ・時計販売店	客数、売上げの減少により悪くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	4月5月6月と少しずつ飲食店にも動きが出てきて配達量も増えてきた矢先に、緊急事態宣言で7月から動きが止まりそのまま回復しないため悪くなっていると判断した。
		製茶販売	飲食店は悲鳴をあげ、スーパー内にあった洋服店は去年に1店、7月にも1店閉店した。収入も減り働く場も減っていき、どこに良くなる要素があるのか。
		日本料理店	緊急事態宣言や時短要請が繰り返し出され、接待や慶事や法事などがなくなったため悪くなっていると判断した。
		食堂	新型コロナウイルス感染者の増加により格段に人の流れが少なくなり、来店人数もそれに比例して減っていった。テイクアウトも伸び悩んでいる状態で3か月前と比べると売上げは全体的に悪くなっている。
		和食レストラン	8月から酒類の提供が停止になり、その影響で来店客が少なくなったため悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの感染者が増加し始めた7月末から来客者が急激に減少し、緊急事態宣言が発令された8月6日以降ほとんどの予約がキャンセルになり、8月の売上げ収益は最悪である。
		旅行代理店	燃料代が高くなっていることは皆分かっていると思う。観光事業者はコロナ禍でまったく仕事がない。県からの支援金は昨年1回あったが、廃業するか、我慢できるまで待つか、いずれかである。景気がどうのと言っている状況ではない。生きるか死ぬかだ。
		タクシー運転手	緊急事態宣言下において夜間の仕事が激減している。仕事がほとんどない状態で景気は悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	私共の業態からして前々年と対比しても1割にもならない。今年1から3月までと8から10月まで休館となると年間売上げからしても、半年の売上げでまたその1割の売上げでは再開する自信さえも消失してしまう。営業してがんばったとしても客層や年代層からしても来客を期待できない。今年の2月から現在まで団体客ゼロである。
		タクシー運転手	売上げが減っているため悪くなっていると判断した。
		クリーニング店	緊急事態宣言が出てから悪くなっている。
企業	製造業（窯業・土石製品）	3か月前が予想したほど悪くなかったため現在は悪くなっていると判断した。現在は本来ならば繁忙期なのだが新型コロナウイルスの悪影響をまともに受けて、なす術がないのが現状である。	
	製造業（金属製品）	引き合い、受注額ともに減少している。	
雇用	求人広告	ここに来て顧客の企業の動きが鈍くなり、景気の様子を見ている状況となっている。発注も一時ストップしたり景気に影響しているため悪くなっていると判断した。	

III 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	林業関係者	引き続き品薄は続き活発な取引が行われるとみている。価格上昇と共に所得の上昇に繋がるため良くなっていると判断する。
		製造業（食料品）	緊急事態と解除の繰り返しでは、消費活動は伸び悩む。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	ワクチン接種が行き渡り、経済活動が回復に向かうことが予想されるためやや良くなっていると判断する。
		酒・各種商品小売業	ワクチン接種の普及により行動制限や飲食等の緩和になるかもしれないため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（燃料）	新型コロナウイルス感染症の影響が大きいので収束に向かえば良くなると思われる。
		日本料理店	新型コロナウイルスのワクチン接種により、外出する人が増えれば来客数も少しずつ増えていくと思う。前半が悪い分少しずつ増えていけばと思う。
		日本料理店	昼間の来客数は若干回復傾向にあるので、飲食店に対する制限が緩和されれば夕方から夜の来客も望めるので、やや良くなるのではないかと思う。
		観光型ホテル	ワクチン接種が進み、経済活動など良い方向に進んでくれればと願っている。
		観光型ホテル	3か月後には大幅なワクチン接種率の向上が予想され、人の動きや旅行の緩和が期待できるため、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	少しずつではあるが、売上げが回復してきているため、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	ワクチン接種が進めば、外出する人流が回復すると思われるのでやや良くなっていると判断する。
		ドライブイン	12月ということで前半はそこそこだと思う。例年、後半にぐんと伸びる。去年はGoTo トラベルでかなり多忙だった。去年ほどではなくても緊急事態宣言が解除されれば、急激に動きが活発になると思われるので期待を込めてやや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	緊急事態宣言解除で多少は人出が増えると思うのでやや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	新型コロナウイルス収束に向けた多少の状況好転を見込むため、やや良くなっていると判断する。
		写真店	新型コロナウイルスで影響を受けている業種を補うため、新規事業を展開したためやや良くなっていると判断する。
企業	不動産業	全国民のワクチン接種率が上がり、緊急事態宣言が解除されて政府からの行動指針が出れば、今まで我慢してきた個人消費がより活発になるのでやや良くなっていると判断する。	
雇用	学校就業関係者	新卒者の有効求人倍率（特に製造業）が上昇傾向にあるためやや良くなっていると判断する。	
変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの蔓延次第だが、人々の気持ちが萎縮してしまっているし明るい話題がないため変わらないと判断する。
		スーパー	景気が良くなる要素はないため、変わらないと考える。ワークスタイルに変化が出てきたため、小売店としても生活動向に合わせた来店を受け入れるしかない。
		スーパー	変わらない、もしくは悪くなっていくと思う。コロナ禍で生活環境が大きく変わり、今後も不透明なので変わらないと判断する。
		スーパー	良くなる傾向にない。商品の値上がりもあり買い控えがあると思う。
		衣料品販売店	新型コロナウイルスが終息するとは思えないため変わらないと判断する。
		小売業（弁当・惣菜店）	コロナ禍での生活に慣れてきたためか、安定している需要はこのまま続くと思われる。
		小売業（酒類）	悪いまま変わらない。新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない限り期待は持てない。
		旅行代理店	例年12月は旅行オフシーズンのため、現状から良くなる要素がないため変わらないと判断する。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、多少兆しが見えてきたように感じるが、景気回復まではいかないような気がするので変わらないと判断する。
		タクシー運転手	期待はしたいが、すぐには変わらないと思う。
		レジャー施設	ワクチン接種率が増加しても、当面は新型コロナウイルスの影響が続くと想定されるため変わらないと判断する。
		ボウリング場	新型コロナウイルス終息まで変わらないと思う。
		企業	製造業
製造業（電気機械器具）	液晶、半導体製造装置関連において受注や引合いが増えてきた。ただ自動車関連やエネルギー関連においては依然として少ない状況である。全体をならせば大して変わらない状況は当面続く見込みのため変わらないと判断する。		
製造業（食料品）	コロナ禍の影響により変わらないと判断する。		
製造業（化学工業）	ワクチン接種者から経済活動を開始する社会的風潮がないので、年内は景気浮上のきっかけが存在しないため変わらないと判断する。		
製造業（一般機械器具）	前回、新型コロナウイルスのワクチンの接種が進み改善を期待していたが、変異型の感染者が出るなど先が読めない状況であるため変わらないと判断する。		
製造業（精密機器）	先が見えてこない。客からは受注が増えるので対応してほしいと連絡があるが、いつ頃からかが不明である。		
運輸業	3か月先も今と変わらない状況だと思われる。		
金融業	新型コロナウイルス感染症の影響について長期化が見込まれると予想している客が多く、短期的にはワクチン接種による消費マインドの上昇を予想しているものの、景況変化はないものと思慮される。		
運輸業（精密機器運送）	現在の状況下では、全く先が見えない。県知事選も終わり、何か具体的な動きを県から発信して欲しい。		



変わらない	雇用	公共職業安定所	新規求人、有効求人ともに増加しているが、今後新型コロナウイルスがどのようになるかわからないため、求人も正社員ではなく正社員以外の求人が多く先行き不透明である。
		求人開拓員	求職者は普段のとおりであるが、県北地区企業からの求人数が少なく、県央地区へ就職してしまう傾向は相変わらずだ。
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	ワクチン接種が進めば良くなると思うが、飲食だけでなく関連会社も厳しいため、景気はやや悪くなると判断する。
		自動車販売店	この2~3か月の急激な感染拡大により、消費者の購買意欲が更に低下すると思われるためやや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	24時間営業をやめたため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（水産物）	新型コロナウイルスのワクチン接種者が増え、外出することに安心感があれば景気も良くなるかもしれないが、リストラや会社倒産等も増えていて予想が難しい。
		小売業（時計）	さすがに欲しい物（当店扱いの商品など）の意欲がなくなってきているため、やや悪くなっていると判断する。
		食堂	コロナ禍で収入の減っている人が多くなり、外食が減ってくると思うのでやや悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	10月以降は台風の時期とコロナ禍の動向で、ゴルファーにも慎重な姿勢が現れている。プラス方向（健康意識が向上していること）とマイナス方向（基礎疾患があったり高齢者でプレー志向が慎重になっていること）が混合し、先が不透明であるため、やや悪くなっていると判断する。
		写真店	新型コロナウイルス影響で仕事が縮小し、中止も増えそうなので、やや悪くなっていると判断する。
		住宅販売会社	9月末までに契約すると住宅ローン減税の3年延長とすまい給付金が受けられるので住宅需要が多くなっていることから、9月駆け込みが多くなり、10月以降は減る見込みのためやや悪くなっていると判断する。
		企業	水産業関係者
製造業（電気機械器具）	受注が少ないため、業務量が増えないため、やや悪くなっていると判断した。		
製造業（電気機械器具）	中国経済のペースダウンが伺えることで、今後が懸念されるためやや悪くなっていると判断する。		
建設業	このところ、建設資材が高騰している。新型コロナウイルスの影響により生産活動が停滞しているのが主な要因と聞くので、この先も景気はやや悪くなっていくと思う。		
情報通信業（情報サービス業）	半導体不足と新型コロナウイルスの影響により、ハードウェア納期に影響が出ているためやや悪くなっていると判断する。		
雇用	求人広告	新型コロナウイルス関連の出口戦略など見通しが示されない限りは好転は難しいためやや悪くなっていると判断する。	
悪	家計	スナック	2年近く新型コロナウイルスが収まらず、みんな嫌になっているため悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（輸送用機械器具）	半導体供給不足継続により国内自動車メーカーの生産停止、北米での売上げ減少のリスク継続。更に半導体の値上げ、材料市況の高騰、高値継続が予測され依然として厳しい状況にあり、売上並びに業績悪化の懸念継続のため悪くなっていると判断する。

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	雇用	学校就業関係者	新型コロナウイルスのワクチンの接種率は既に全人口の7割近くに達しており、このまま順調に接種が進めば年内には行動制限も緩和され、人流も回復すると思われる。新型コロナウイルスと共存しつつ、飲食・観光業の需要は増加すると思うので良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	小売業	3か月先の12月はお歳暮、クリスマス、年末年始と歳末商戦のピークを迎え、ギフト、自家需要ともに大きく期待できる店最大の売上げ確保月である。緊急事態宣言の解除のタイミング、ワクチン接種状況の進捗により状況は変化するが、少なくともワクチン接種率は高まると考えられ、消費マインドの改善による来店客数増につながると想定されることから、やや良くなっていると判断する。
		小売業	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が減少すると考えると、安心して来店される客が増え、店内の滞留時間も延びると考えるのでやや良くなっていると判断する。
		割烹料理店	緊急事態宣言が解除されれば多少は良くなってくれると思うが、通常の売上げには戻りそうもないと思う。
		スーパー	9月1日よりプレミアム付商品券の利用が開始され、食品・飲食を中心に昨年以上の売上げとなっているため、やや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	ワクチン接種完了後に少なからず旅行需要や飲食需要の回復が見込めそうなのでやや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	営業規制が緩和されれば、現在よりは来客も増えると予想。また、宴会等の予約も現在よりは若干予約があり、現状よりは回復すると予測している。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、今後、ウィズコロナへの動きが出てくると思うのでやや良くなっていると判断する。
		旅行代理店	ワクチン接種者が増えて、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくると思うのでやや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	ワクチン接種も進み、いろいろな景気対策を政府がやってくれそうな報道もある。現在の最悪な状況も3か月先は少し改善されることを期待する。
		道の駅	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み人の動きが活発化すると思う。激変まではいかないが少しずつ上向きになると思う。治療薬が承認されればもっともっと良くなる。
		レジャー施設	現在が最悪な状況であり、数か月後には新型コロナウイルスのワクチン接種もほぼ完了すると見込まれるため、経済活動が少しずつ動き始めて、景気は上向くと期待している。
		スーパー銭湯	9月30日をもって緊急事態宣言が解除されるとのことなので、営業時間を通常営業に戻すことができるため、夜間の来館数が伸びる。また、酒類提供ができるようになるため飲食の客数・売上げとも伸びると見込んでいる。ただし、解除後の消費者行動の優先順位（旅行や他レジャー・他都府県への移動などと比べて）が高くなければ、急激な回復は見込めないと考える。
		設計事務所	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言も解除され、少しずつ町に活気が戻ってくるのではないかとと思うのでやや良くなっていると判断する。
		企業	製造業(食料品)
製造業(金属製品)	需要は徐々にではあるが確実に回復しており今後の動向に期待できる。しかし、まだまだ適正な量とは言えず、安値受注の回避と高騰した原材料費の価格転嫁が課題。		
金融業	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、その効果は出ると考えられるのでやや良くなっていると判断する。		
不動産業	ワクチンの普及が進んできて、今よりも少しは安心して外出できる状態であれば良くなると思う。接待も多い業種なので、飲酒ができない状況では打合せの機会が減ってしまい新規開拓が弱くなっている。		
雇用	求人広告	緊急事態宣言が明ければ少しは消費が戻るかもしれないためやや良くなっていると判断する。	

変わらない	家計	小売業	客数や客単価等、特に良くなりそうな材料もなく全体的に悪い状態のまま変わらないのではないかとと思われる。
		スーパー	新型コロナウイルスの感染者がなかなか減らないと思うので見通しが立たないため変わらないと判断する。
		小売業	回復の兆しが見えないため変わらないと判断する。
		自動車販売店	法人、個人消費ともさほど変わらないと思われる。
		農産物直売所	年末の高級果実や干し芋等のギフト商品の問合せが同じようにあるため変わらないと判断する。
		楽器販売	新型コロナウイルスの影響が落ち着いた事には変わらないと判断する。
		レストラン	コロナ禍が収まるまでは厳しいと思う。酒類提供の緩和があれば少しは変わるかもしれない。
		レストラン	今の状況で、大型の会合や年末年始の予定を開催の方向で考えている客が少ないため変わらないと判断する。
		割烹料理店	新型コロナウイルスが収束しない限り変わらないと思う。
		バス運転手	感染症の蔓延状況にもよるが、飛躍的な景気改善の材料はない。
		タクシー会社	緊急事態宣言等の発出、解除の繰り返しの中で、政府が実行する経済再生政策がうまく機能するとも思えない。政権が変わることでの期待感もあるが、総選挙の結果によっては更なる混乱も想定されるため変わらないと判断する。
		タクシー会社	新型コロナウイルスの状況しだいで景気動向が大きく変化すると考えるが、現状の感染者数、医療提供状況から厳しいものがあると思うので変わらないと判断する。
		観光名所	今年中はまだまだだめだと思うので変わらないと判断する。
		レジャー施設	明るい情報として、ワクチン接種が進み外食や旅行など出来ることが増えると必然的に景気は良くなっていくと思うが、今後3か月ではまだそこまでの成果は期待できないと考える。
		理・美容店	今の状況が少しでも変わることを願いたい。外出も自由に制限なくできるようになれば変わってくるであろう。
ペット美容室	3か月後は年末になるので一年間を通して一番忙しい時期になる。お客様を見て思うことは、昨年・一昨年、と全く変わらずという感じがする。来店頻度は変わらない。		
企業	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの影響で先が不透明であるため変わらないと判断する。	
	製造業（一般機械器具）	半導体不足で仕事の出が鈍く、緊急事態宣言により大手の担当者はテレワークとなりコミュニケーションが取りにくい。	
	建設業	変化の兆しが見られないため変わらないと判断する。	
	運輸業（道路貨物運送業）	コンテナ不足がやや解消され、今まで不足気味であった輸入原料の在庫が増えていく見込みである。しかし、現在の部品在庫増である状況を考えると原料消費には時間がかかると思われるため変わらないと判断する。	
	工務店	ワクチン接種の広まりにより徐々に持ち直すと思うが、もう少し時間はかかると思う。	
	サービス業（コンサルタント業）	原状維持の状態が続くと思われるため変わらないと判断する。	
	雇用	人材派遣業	良くなる要因はまだ見当たらないため変わらないと判断する。
公共職業安定所	求人は対前年同月比で増加傾向が続き、求職者は減少傾向が続くと思われる。内部事案としてシステム刷新により今後の動向を注視していく必要がある。		
求人開拓員	当面の期間はウィズコロナの状況が続く。ワクチンによる集団免疫の進捗は見られるものの、景気に対する効果が具体化するのはいくぶん先になると思われるため変わらないと判断する。		
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	ワクチン接種の普及で新型コロナウイルスを抑えられるという期待が、次々に現れる変異株の出現で打ち砕かれ、コロナ禍延長ムードが漂っており、あきらめ感を持ち始めていると感じるため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	買い控えの傾向にあり、収入も減っている人が多いと思われるのでこの先悪くなると思われる。
		スーパー	緊急事態宣言の終了、新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大により、外食産業への流出が拡大すると思われるためやや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	自粛で来店客が減っている。
		スーパー銭湯	時短解除されても過去からみれば客足が戻って来るまでには時間がかかる。ただし、客足が戻る時間が前よりは早くなっている。
		設計事務所	当面建築資材の価格上昇が続くと考えられ、受注件数の上昇は考えにくいとやや悪くなっていると判断する。
企業	製造業（印刷・同関連業）	まだまだ影響を受けることが考えられるためやや悪くなっていると判断する。	
	製造業（精密機械器具）	半導体部品不足関係の入荷次第にもよるが、現状の見通しとしても明るい話はないので、やや悪くなる事は避けられないと思う。またその後も続くようであれば経営的な問題にもなりそうである。	
家計	家電量販店	新型コロナウイルスの影響で来店客がゼロの日が続く上に顧客宅への訪問もできない状態である。このようなことで困っている。感染が収まるまで景気が良くなることは望めないと思っているので悪くなっていると判断する。	
	旅行会社	コロナ禍で学校の遠足がキャンセルになっているため悪くなっていると判断する。	
企業	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスが収束するまでは景気が回復するとは思えないため悪くなっていると判断する。	
	建設業	ウッドショックと新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかわからない。すでに価格が上がってしまっているため新築等の大きな仕事はできず、リフォーム、修繕工事になってきているため悪くなっていると判断する。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者が減り、人や物が活気良く動いている事を期待している。
		理・美容店	理容店が世間的に注目されていて、近隣のサロンと比べ技術者が若く、若い世代の新規客がずっと増え続けている。新型コロナウイルスの影響で地元でかかりたいという客もつかめている。
	雇用	民間職業紹介業	12月までの業務計画等から忙しくなっていることがわかるため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	緊急事態宣言が解除されていると思うのでやや良くなっていると判断する。
		小売業（菓子類）	ワクチンの接種が進めば新型コロナウイルスの影響もやや小さくなると思うのでやや良くなっていると判断する。
		和食レストラン	新型コロナウイルスのワクチン接種が一層進み、感染者や重症者が減少し、病床ひっ迫や自宅療養中の死亡者等もなくなれば景気回復も見込められるので、期待を込めてやや良くなっていると判断する。
		観光型ホテル	宿泊の予約は例年通り入っているため新型コロナウイルスが収まれば、キャンセル回避できるのではないかと思う。
		運転代行	多少人の動きもよくなるのではないかと思うのでやや良くなっていると判断する。
		旅行代理店	新型コロナウイルスのワクチン接種者が増えてきたので、今後客が増えてくれることを期待してやや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	やや良くなっていると思う。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの感染症対策が進み、外出に対する制約が少なくなれば景気も良くなっていくのではないかと思うためやや良くなっていると判断する。
	企業	クリーニング店	新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるし、9月20日から非常事態宣言が解除されるので、縮小はされるがサークルや行事も少しずつ緩和されていくと思う。
		製造業（食料品）	新型コロナウイルスのワクチン接種が政府発表通り11月頃までに目途がつけば、新型コロナウイルスの感染者が減少して、従来よりは経済活動が活発になる。
		製造業（電気機械器具）	国内回帰の新規受注案件が立ち上がるので、売上げは改善される見込みのためやや良くなっていると判断する。
		建設業	衆議院選挙後および新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度行き渡り、治療薬の開発が進み経済に弾みがつくかも知れないのでやや良くなっていると判断する。
		建設業	緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種者の規制緩和により人の流れが出てくることで消費が増えると考えるのでやや良くなっていると判断する。
		運輸業（道路貨物運送業）	企業の仕事が少しずつ戻ってきたため、やや良くなっていると判断する。
		金融業	新型コロナウイルスのワクチン2回目接種率が50%を超え、今後更なる接種率上昇に伴い抑えられていた個人の消費行動が拡大するものと思われるためやや良くなっていると判断する。
不動産業	今が悪い分景気動向としてはよくなるのではないかと思う。		
雇用	公共職業安定所	ワクチン接種が順調に進み行動制限等が解除され、消費が回復基調となれば、宿泊、小売り等の業界も繁忙となり、景気も上向きになると思われる。	
変わらない	家計	商店街代表者	ワクチン接種後の重症化リスクの低減も不透明な部分も多く、医療体制のひっ迫緩和が見えてこない限り、我慢の生活を続けていくことが求められている。また、夏から秋・冬場になり今回より感染拡大が懸念される点と、ワクチンの効力が失われてしまうような新たな変異株の出現により、度重なる経済の停滞を想像してしまう。
		スーパー	新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、感染者がなかなか減らないため変わらないと判断する。
		家電販売店	前年は新型コロナウイルスの影響があり、比較するのは難しいが平均的に見て状況に大きな変化は見られないと判断する。
		農産物直売所	変わる要素がない。新型コロナウイルスが収束しないため変わらないと判断する。
		農産物直売所	新型コロナウイルスが終息しない限り変わらないと思う。
		小売業（薬品店）	大きく変化する要因が見当たらないため変わらないと判断する。
		道の駅	新型コロナウイルスが収まらないと良くならない。
	ゴルフ場	自業種では、ワクチン接種が進み規制の緩和が見られれば、ゴルフ以外のレジャーの選択肢が増え、現状変わらないものと判断。他県からの来訪者は依然多く、また年齢的にも若い方が増えているが、一方で利用料金の低下が招く売上げ減は当面続くと感じる。	
住宅販売会社	新型コロナウイルスの収束が見通せないため変わらないと判断する。		

変わらない	企業	農業関係者	景気は上向いてきたが新型コロナウイルスの影響で今後消費動向が落ち込むのではないかと心配である。
		製造業（化学工業）	ユーザーの生産の稼働率は横ばいの状況が3か月先も続くと思われるので、景気は変わらないと思う。
		製造業（精密機械器具）	現況が続くと思う。
		製造業（鉄鋼業）	経営状況は引き続き好調を維持していくと感じているため変わらないと判断する。
		製造業（金属製品）	自動車部品関連は個々の部品が海外生産のため入荷しないので計画生産ができず、大手メーカーは20～35%位、下期減産計画を出した。
		運輸業（道路貨物運送業）	現状の推移でしばらくは進むと思われるため変わらないと判断する。
		保険業	土木工事は県道バイパス、東関東高速道路工事に増収が見られるが、建設工事が減収になっている。
		サービス業	新型コロナウイルスの拡大やオリパラの開催など例年とは異なる状況下にあったものの、製造業においては一定の水準まで生産が戻ってきているようであるが、ワクチン接種が行きわたるまでは景気はこのまま推移していくものと思われるため変わらないと判断する。
		サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないと景気が回復しないと思われるため変わらないと判断する。
雇用	人材派遣業	コロナ禍の状況が好転しない限り、様子見の状況が続くのではないかと。	
	求人开拓員	景気の好影響が中小の零細企業に関わってくるのはまだまだ先のことであると思うので変わらないと判断する。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	ワクチン接種率の増加により外食産業の営業面での規制緩和が進み、コロナ禍の特需がさらに薄まるのではないだろうか。また、粉類・肉類の原料原価の高騰が想定されるので、景気は現在よりもやや悪くなっていると判断する。
		衣料品販売店	まだまだワクチン接種していない人が多い。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスの終息がなければ受診抑制、長期投与が続くためやや悪くなっていると判断する。
		小売業（書店）	コロナ禍で主力の漫画の動きも一段落したので、大きなアップにはならないと思うためやや悪くなっていると判断する。
		洋食食堂	終わりのない迷路に入り込んだようだ。コロナ禍前の生活にはなかなか戻れないかもしれない。
		日本料理店	1年通しても今が1番悪い。良くなる要素もないためやや悪くなっていると判断する。
		レジャー施設	8月上旬より茨城県独自の緊急事態宣言、国のまん延防止等重点措置が発令され、施設の臨時休館が余儀なくされた。周辺施設も同じ対応となっているので景気が回復に向かい始めたところで水を差される形となるため、今後景気がまた悪化していくと思われる。
		住宅販売会社	現在の問合せが少ない状況から受注残が少なく、3か月先は悪い状況の判断・推測ができる。
企業	製造業（食料品）	年内は回復のための材料はあまり見当たらないためやや悪くなっていると判断する。	
	製造業（ゴム製品）	客先からの3か月後の発注予定が減っているためやや悪くなっていると判断する。	
	不動産業	建設用の部材が値上がりや品不足等となり、また新型コロナウイルスと重なり景気は少し悪くなると思う。	
雇用	学校就業関係者	新型コロナウイルスの感染拡大によりやや悪くなっていると判断する。	
悪くなっている	家計	割烹料理店	ワクチン接種が進めば良くなると思ったが、3回やらないと効果が低いと言われ始めたので悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	茨城県に緊急事態宣言が出された前回や数か月前もこれ以上景気が悪くなることはないと思っていたが、どんどん下がっていく一方なので、3か月後も悪くなっていると思う。従業員も今月から来月にかけてさらに減少するため今後の行く先がなお一層不安である。
		タクシー運転手	新型コロナウイルス次第だと思う。悪化していけば景気は回復しない。人が動かなければ、現状回復は見込めない。新型コロナウイルスの方が先行しているため、後手後手になっているのが実情。何かしなければ景気回復はしない。日本だけの問題ではなく、世界的な問題だ。

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	テーマパーク職員	緊急事態宣言が解除されていることを前提とするが、幣施設でいえば、予約数や団体での予約が3か月先にかけて大きく伸びてきている。また、8・9月自粛生活を我慢していた方々にとっては、年末にかけて自粛していた分、消費傾向にありそうに感じる。アウトドア・レジャーの視点からみると、季節的要因と関係なく、3か月先に向けて増えていく傾向にあるため良くなっていると判断する。
		ボウリング場	コロナ疲れがかなり溜まっているように感じる。ワクチン接種が進み治療薬が開発されれば、旅行やレジャーといった娯楽に対する消費も増え、景気が良くなってくるかと思う。
	企業	建設業	現時点でも11月までは工事予定でいっぱいである。あと2か月の間で12月以降の工事受注がかなり多く出てくると思われる。よって、景気は良くなると判断する。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいることや国の施策により、一定の行動緩和がなされれば、行楽による客数増加が見込まれるため、やや良くなっていると判断する。
		小売業	緊急事態宣言の解除および新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、我慢していた消費が年末に向け拡大すると思われるためやや良くなっていると判断する。
		衣料品販売店	コロナ禍のオリ・パラ・政変など終了したら、もっと新型コロナウイルスに取り組んで、早く元の生活に戻れば一時的に成長する。その後はまた成長戦略を考えればいい。
		和食食堂	コロナ不況の回復基調から上向くと思われるためやや良くなっていると判断する。
		洋食食堂	会食、飲酒、営業時間が通常に近くなっていけば良くなっていくと思うし、キャンセルした客があらためて予約を入れてくれると思う。客単価は昼、夜1000円から3000円アップしているためやや良くなっていると判断する。
		寿司店	営業時間が長くなるし、なにより酒類の提供ができるようになることが大きいのでやや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	希望的観測ではあるがワクチン接種が浸透し、外出の機会が増えてくる時期に突入するのではないかと考えている。企業の出足は様子見の段階で遅くなるのではないかとと思うが、一般客の日常送迎が主な内容となってくると思うのでやや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	今の状況で予約が多少増えているため先行きは良くなっていると思われる。
		タクシー運転手	新型コロナウイルス対策のワクチン接種が進むと思う。感染者が少なくなり、人の流れが今よりは多くなると思われるためやや良くなると判断する。
		ゴルフ場	緊急事態宣言の解除時期にもよるが、ゴルフは比較的 안전한スポーツとの認識もあり来場者の増加は見込めると思う。また、例年開催コンペの問合せも増えつつあるためやや良くなっていると判断する。
	レジャー施設	ワクチン接種率の増加により、今後の先行きが見えてくる状況となったため、多くの経済活動が活発になることが見込まれる。また新内閣の体制への希望からも、将来的な好景気感は一定程度見込まれるためやや良くなっていると判断する。	
	理・美容店	総理大臣が変わるのでやや良くなっていると判断する。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	問合せが増加しているためやや良くなっていると判断する。
		製造業（食料品）	新型コロナウイルスのワクチン接種者が多くなり、新型コロナウイルス感染者が少なくなると、外出も多くなり多少なりとも客数も増えると思うのでやや良くなっていると判断する。
		製造業（飲料）	コロナ禍が落ち着き、年末に向け良くなってほしい。
		不動産業	新型コロナウイルスの落ち着きも考えられ、また政治の世界でも内閣が変わり活気が出てくると思うのでやや良くなっていると判断する。
雇用	民間職業紹介業	半導体部品の生産次第だが、車両関係や精密機器分野の生産増が見込めるため、やや良くなっていると判断する。	
	求人広告	3か月前と比べるとやや景気が悪くなっている印象はあるものの、9月に入ってこの数日やや景気回復の兆しがみえているような気がしているためやや良くなっていると判断する。この景気が悪かった3か月間を充電期間と捉える方が多かったようなので、ここから活動的になる企業は増えてくるのではないだろうか。	
	公共職業安定所	製造業については引き続き持ち直しの動きが続くことが見られる。また新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでおり、緊急事態宣言が解除されればサービス消費は回復基調になるものと予測されるためやや良くなっていると判断する。	
	求人開拓員	新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大により、生活圏が緩和され、経済活動にも好影響が予想されるためやや良くなっていると判断する。	

変わらない	家計	家電販売店	新型コロナウイルスがどの程度収まっていくのか見当がつかない。
		スーパー	新型コロナウイルスの影響もあり景気が良くなる気がしない。
		スーパー	新型コロナウイルスが完全に終息するまでは、今の状況が続くと思われるため変わらないと判断する。
		コンビニエンスストア	この後の新型コロナウイルス次第で変わると思う。
		農産物直売所	常連客のリピーターが多く新規の客が少ないので変わらないと判断する。
		小売業（生花店）	新型コロナウイルスの緊急事態の中では、変化はないと思うので変わらないと判断する。
		小売業（米穀）	新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、少しは動き出すのかと思うが、そんなにすぐには戻らないと思う。
		都市型ホテル	景気は予約状況を踏まえると昨年とあまり変わらず、周りの景気も変わらないと思う。インバウンドや忘年会など過去の話。アフターコロナもいつからなのか、厳しい状況はまだまだ続きそうである。
		都市型ホテル	先行きが読めないというのが本音だが今以上悪くなりようがないのだからちょっとぐらい上向いても景気自体は悪い状況には変わりまはない。とにかくコロナ問題が終息して人々が安心して仕事に打ち込めるようにならないとすれば景気は良くなるのではないだろう。
		タクシー運転手	緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解消されていない状況であり、売上高は同程度で推移していくものと思慮されるため変わらないと判断する。
		タクシー会社	ワクチン接種がなかなか進まないため、出歩く人が少ない。
		サービスエリア	コロナ感染予防に伴う規制の緩和が行われればいくらかの動きはあると思われるが、冬場に向け感染者数拡大の懸念もあり、総合的に3か月後の時点での大きな回復も悪化も予測できない。
		ゴルフ場	客からの問い合わせで10月以降のパーティーやアルコール、風呂等についての問い合わせが多いが、こちらも国からの要請は守らなければいけないため、状況の分析が非常に難しい。
		理・美容店	将来の事はわからない。
		設計事務所	新型コロナウイルスが終息し 経済、社会活動が活発化する事を期待している。
		企業	農業関係者
製造業（印刷・同関連業）	ワクチン接種の効果も期待できるが、3か月以内に景気が回復するとは思えない。現在、自民党総裁選挙が行われているが、新政権の経済対策に期待し変わらないと判断する。		
製造業（その他）	前年比と比べると景気は良くなっていると思う。		
製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスのワクチン接種がなかなか進まず、年内いっぱい是不変わらないと感じる。		
製造業（非鉄金属）	部品供給不足が解決するかどうか今のところわからないため変わらないと判断する。		
製造業（一般機械器具）	変わるような材料がない。		
建設業	新築工事よりも改修工事等が増加し、景気も上昇みになるのではないかと。		
運輸業（倉庫業）	貨物の動きが上昇する気配が感じられないため変わらないと判断する。		
金融業	新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるにも関わらず、新規感染者の発生数は高止まりしており、感染症の終息する兆しはなく、また緊急事態宣言も9月30日まで延長となり、引続き経済活動が全般的に制限され、景気の持ち直しは見通せない状況である。特に当組合の客はエンドユーザーが多いため、人流の動きが業績に直結している。		
雇用	学校就業関係者		学院生が就職している企業（金属加工業）に、新型コロナウイルスの影響はあるかと聞いたが、変わらず仕事も多く、影響がないと言っていたため変わらないと判断する。
やや悪くなっている	家計	スーパー	客数、売上高とも落ちて景気は悪くなっていると思う。
		スーパー	食品原価の上昇によりやや悪くなっていると判断する。
		都市型ホテル	年末に向け例年は忘年会シーズンとなり、繁忙期に入るが、今年は開催を見送るケースが多く目立つ。新型コロナウイルスワクチン接種者への行動緩和がかなえば経済も多少良くなると思うが、先が見えないのが現状となる。
		その他	新型コロナウイルスが終息する気配がないためやや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（食料品）	取引先の事業者から在庫が予想より減っていない相談を受ける事が多くなった。在庫品を使った加工品を作る事は出来るが、客に商品を浸透させるには時間が掛かる。在庫品の解消には時間が掛かると予想するのでやや悪くなる傾向にあると思う。
製造業（窯業・土石製品）		公共事業への依存度が高い。今後、コロナ渦による影響が出そうなのでやや悪くなっていると感じる。	
不動産業		緊急事態宣言の発令により、飲食、観光業へのダメージはこれから出てくると感じる。不動産業も今後は不透明であるためやや悪くなっていると感じる。	
悪	家計	和食食堂	新型コロナウイルス次第では悪くなっていると感じる。
	企業	農業関係者	農業者を中心に業務を行っている事から、米価の下落により買控えが増加するため悪くなっていると感じる。
		建設業	ウッドショックの影響で木材の入荷、価格高騰で受注が薄いため悪くなっていると感じる。

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	小売業（酒類）	せめて10月には予定通り緊急事態宣言も明けて飲食店も動き出してもらいたい。飲食店を相手にして仕事をしている私たちの業界はもう限界点にきているので今より悪くなることはないはずと信じている。
		レストラン	たぶん12月は普通の営業時間に戻り、国民のワクチン接種も進むと思うので久しぶりに賑わいが戻り、4人以上の会食もできるようになり売上げは伸びるのではないかと考えている。昨年もクリスマスだけは客が入ったので今年も期待できる。
		旅行会社	今我慢してる分、年末に向けての動きが活発化してくると思われるので良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	政府がワクチン接種率が70%を越すであろうと考える10月ないし11月に行動緩和の意向を示しているの、今の状況よりも人の動きは活発になることが予想されるため景気は回復傾向にいくのではないかと考える。
		日本料理店	ワクチン接種が進めば少しは状況も変わっていくと思うためやや良くなっていると判断する。
		道の駅	茨城県の非常事態宣言や国の緊急事態宣言も解除になり、少しは人の流れが復活するのではないかと考えているのでやや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	客数は回復傾向にあり、3か月後も緩やかな回復と予測するためやや良くなっていると判断する。
		レジャー施設	新型コロナウイルスが収束に向かえばやや良くなってくると思われる。
		レジャー施設	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み感染者数が減少し、外出に対して前向きになってくると思われるためやや良くなっていると判断する。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	半導体不足により様々な製造の動きが鈍くなっている点が改善されれば、もう少し増加の動きになりそうな商談があるためやや良くなっていると判断する。
		不動産業	アパートの解約理由で家を建てているという客が多い。
	雇用	求人広告	今の状況が最悪に近いのでこれ以上悪くなりようがない。取引先など軒並み破産すれば別だが、今を乗り越えれば景気は良くなると感じている。またその傾向も見えつつあるためやや良くなっていると判断する。
		人材派遣業	半導体不足やウッドショックにより自動車・住宅関連企業の採用が少なくなっていたが、徐々に生産を増やす話を聞くようになったので今後3か月の景気はやや良くなると判断する。
変わらない	家計	商店街代表者	悪くなったまま変わらないと思う。3か月後は12月なので売上げは上がると思うが、景気は停滞気味だと思う。
		スーパー	今の新型コロナウイルスの状況、政治の混乱、今年の年末年始の動向は予想が難しい。
		スーパー	新型コロナウイルスの感染状況によって変わってくると思うが予測が困難である。
		衣料品販売店	これ以上悪くなりようがないし、来客が増える要素もないため変わらないと判断する。
		家電販売店	オリンピック特需を期待するが要因にはならず、テレビ、ポータブルドライブレコーダーは変化がなかった。新型コロナウイルス対策アイテムは継続して売れているが、大型、中型の対象品は動きが鈍く小物商品を中心とした物に移行している。
		自動車販売店	新型コロナウイルスの感染拡大が止まらなければ、解決はしないため変わらないと判断する。
		農産物直売所	新型コロナウイルスの状況次第。まだまだ青果物の単価高は続くと思うが、売上点数が伸びるとは思えないため変わらないと判断する。
		メガネ・時計販売店	冬場の新型コロナウイルスの感染が危惧されるため変わらないと判断する。
		食堂	新型コロナウイルスが落ち着かないと景気回復はまだ見込めないと予想しているため変わらないと判断する。
		和食レストラン	ワクチンがある程度打ち終わっているが、今また新しい変異株が出てきたので集まることを控える人が多くなり、あまり変化がないと思う。
		タクシー運転手	ほとんどこのまま推移していくのではないかと考える。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響が続いているため変わらないと判断する。
		道の駅	新型コロナウイルスの終息はまだ見えないまま、今後も個人消費が上向くとはまだ考えられないため、変わらないと判断する。
		理・美容店	ワクチンの効果もどの程度あるのか分からないのでなんとも言えない。
		商店街代表者	ワクチン接種が若年層まで進みつつあり、不要不急の外出自粛の要請が緩和されると、買い物や飲食さらに県を越えた観光等の動きが出てくると思われる。しかし、現在のコロナ禍の収束が見えない上に、秋から冬にかけての新型コロナウイルスの第6波も懸念されているため変わらないと判断する。



変わらない	企業	製造業（食料品）	景気が良くなる要素がないため変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響は徐々に少なくなると思われるが、材料の値上がり、入手性が今後も不透明なためしばらくは変わらない。
		製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの新規感染者数が減少に向かっており景気の回復も期待できると思う。時期は6か月後になるかと思う。
		製造業（非鉄金属）	新型コロナウイルスの影響がなくなる限り回復するようなことは見込めないとされるため変わらないと判断する。
		製造業（化学工業）	電子材料受注好調環境は年内は続くという市場情報により変わらないと判断する。
		製造業（窯業・土石製品）	良くなってほしいが最低でも悪化はしないほしいという期待を込めて変わらないと判断する。
		製造業（金属製品）	オリンピック後、急激な経済回復が望めるとの見方もあったが、今期は急な変化はないと思われるため変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	長期的な変動予測は難しいが、この状況は当面続くと思われるため変わらないと判断する。
		建設業	特に変化を感じないため変わらないと判断する。
		建設業	公共工事も出てきているので多少良くなると思うが、材料の高騰や人件費もかかるので変わらないと思う。
		金融業	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により飲食業は依然として不透明であるが他の業種においては変わらない状況である。
		サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルス次第では変わらないと判断する。
		雇用	人材派遣業
学校就業関係者	就職内定率が昨年度の同時期と変わらない。		
求人開拓員	管内事業所の求人状況については、継続的に求人が出ている状況が多くみられるが、新型コロナウイルスの終息が見られないうちは今までの状況が続くのではないかとと思われる。		
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスが落ち着かないと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		旅行代理店	先行きが不透明である。貯蓄がないので年金を使いながら車検や3か月点検などの整備をやっている。ツアーバスのチラシを作成し、集客しようと色々プランを立てて、勧誘しても不参加である。走らなければ金が入らない。これからも大変だ。
		ゴルフ場	会食率の低下及び団体客の利用者は低下すると予測しているため、やや悪くなっていると判断する。
		設計事務所	材料価格の高騰により状況静観で動きが鈍るためやや悪くなっていると判断する。
	企業	畜産関係者	市場動向をふまえてやや悪くなっていると判断する。
製造業（金属製品）	材料価格の高騰が単価に反映しにくいいためやや悪くなっていると判断する。		
悪くなっている	家計	商店街代表者	コロナ禍が改善されなければ厳しい。
		製茶販売	新型コロナウイルスのワクチンを全員が接種すれば良い方に向くのではと期待していたが、接種しても新型コロナウイルス感染者がどんどん増えているため悪くなっていると判断した。
		日本料理店	この1年悪くなっているのに3か月先良くなるとは思えないため悪くなっていると判断する。
		都市型ホテル	現在新型コロナウイルスに感染して病院が満床で入院できない人、自宅療養するにも家庭内感染が怖くて自家用車に寝泊まりしている人。この現状が先進国である日本なのかと不安になる。現状を真剣に受け止めれば、国会議員は選挙だのオリンピックだの語っている時ではないと思う。このような日本で3か月先など怖くて考えられない。
		観光型ホテル	昨年より何度も繰り返されたこの緊急事態宣言で、また6波がくるかもしれないと不安視される中では2~3か月などという短期間で回復するはずもないと思われる。1年6か月以上も経過してさらに悪くなっている状態で回復とか良くなるとかという期待はない。どう会社を維持するかできるか死活問題で希望的予想はない。
		クリーニング店	新型コロナウイルスのワクチン接種が進みコロナ禍が落ち着いて経済が回るのか、とにかく先の読めない世の中だと思う。
		設計事務所	景気回復どころか心身ともに健康を維持することで精一杯の状況であり、悪くなっていると判断する。
		企業	製造業（窯業・土石製品）

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	外出や結婚式等のイベントがないので呉服などは必要ないとの事をよく聞く。将来の不安からお金を使いたくない。
	商店街代表者	飲食店の入れ替わりが数多く見られる。
	スーパー	従業員でも車の税金やガソリン代を考え、軽自動車に変えようと考えている人が何人かいる。
	スーパー	商品を買うか買わないか、店内から携帯で相談している場面が多く見られる。
	酒・各種商品小売業	最悪である。
	コンビニエンスストア	学生が歩いていない。クレームが増加している。
	衣料品販売店	依然低迷している。
	小売業（弁当・惣菜店）	コロナ禍での影響はまだ続きそうだが、周りではワクチン接種の話もよく聞くようになった。とはいえまだワクチン接種を多くの方が待っている状況でもある。今後スムーズにワクチン接種が進めば環境が変わると期待している。また最近では地元のPCR検査の陽性者が多数出ているのが続いていて、少々不安である。また、コロナ禍での生活に慣れたことでその慣習が新型コロナウイルスが終息後も続くのではないかという思いもある。例えば葬儀のスタイルや対面での会合の簡略など。
	小売業（燃料）	ビジネス・レジャーいずれも県外への行き来が非常に少ないと思われる。
	小売業（水産物）	新型コロナウイルスの影響で景気の良い会社、悪い会社が二極化している気がする。
	小売業（時計）	とにかく来客数が少ない。
	レストラン	早く新型コロナウイルスが収まり、元の生活に戻ってほしいという言葉ばかり聞く。このコロナ禍で外食も控えているという声も聞く。人生、生活が変わってしまったという方も多い。
	スナック	外食やスーパーはものすごく混雑してる。
	日本料理店	油の仕入れ価格が段階的に引き上げられ、5月までと比べて1缶当たり約1.5倍になった。他の原材料がほとんど変化していない中で、この値上げ幅はかなり異常に思える。
	観光型ホテル	図書館などの公共施設や遊園地・動物園などがほとんど閉館中のため、子供を連れて行く場所が公園や広場等に限られ、ランチや娯楽に使用する出費が大幅に減少した。県をまたぐ移動を自粛するのはもちろんのこと、感染者が多い市町村へ出かけるのも躊躇してしまうため、友人と会食する機会も減ってしまった。
	タクシー運転手	駅前の通勤者が大幅減少している。外食自粛で食料品購入のスーパー客が増えたように思う。
	レジャー施設	県内の県北地域の新型コロナウイルス感染者数が、最近増加傾向にあると切に感じている。
	ゴルフ場	若い人の来場が増えた気がする。
	ゴルフ場	県外への行動を自粛し、県内のプレー場を求める兆しが見えている。
	ゴルフ場	緊急事態宣言長期化により発布に対する緊張感がうかがえない。一方で飲食関係業態は明らかなひっ迫状況である。
ボウリング場	日本経済が回復しないと厳しい。	
写真店	自営業はどこも大変そうだ。	
企業	林業関係者	市場価格高騰に伴い山林等の売買が急速に進んでいるように感じる。いち早く状況判断している企業は、大型機械や輸送トラックといった高額な資産への投資も見受けられる。
	製造業（電気機械器具）	世間は株高で景気が良くなっているように感じられるが、実際の家庭にはあまり影響がないと思う。
	製造業（電気機械器具）	消耗品等の価格が上昇している。現在の購入価格の倍以上の金額を提示してきた物品がある。
	製造業（化学工業）	商品の物価がじわじわと上がっている。ますます消費は落ち込むと思われる。
	製造業（一般機械器具）	半導体製品の納品遅延が発生しており、今後の状況が懸念される。
	製造業（精密機器）	地域性があるのだろうが車の生産は良くないようだ。
	製造業（精密機器）	M&Aの話が多く客も売ってしまったとかまたやめるメーカーが増えている。本当によいのかわからない。やはり業界でも値上げを考えていかないと思う。
	金融業	住宅関連業種について、新築戸建需要やリフォーム需要の高まりにより活発化が見られている。しかしながら、ウッドショックの影響による木材価格高騰（集成材3倍、国産乾燥材2倍程度の値上がり）から思うように進んでいない状況が見受けられる。
	不動産業	不動産、建築業は、コロナ禍になって以降ずっと横ばいといった傾向が感じ取れる。
	情報通信業（情報サービス業）	外で酒が飲めないのは今までになく凄く徹底振りである。個人的には飲めなくても問題ない。
運輸業（精密機器運送）	近い存在の人達が、倒産したり、閉店したりと暗い話ばかり。せめて茨城県内だけでも明るい話題が欲しい。	
雇用	求人広告	先が見えないが故に様子を見てる企業が非常に多いので解決はしなくとも出口の方向性は明確にしてほしいという声を非常に多く耳にする。
	学校就業関係者	食料品等の値上げが続き、物価はインフレ傾向にあるが、給与は上がらないので若干生活が苦しくなりつつある。
	求人開拓員	大型店が開店して約15年、杉木の伐採が相次いで宅地造成、新築が増え、町の様子が様変わりしている。

## (2) 県央地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	緊急事態宣言後は、夜8時以降になるとコンビニエンスストア以外の明かりは消え閑散とした光景が続いている。活気が感じられない。
	小売業	人通りが少なく、特に近隣企業に勤めているサラリーマンなどが街中を歩いていない印象である。緊急事態宣言発令により、昼食は外食を控えたり、リモートワークが増えたりしているのかと思われる。
	小売業	入店客数、買上客数はコロナ禍前水準には大きく溝をあけられているが、年代別の24歳以下の若年層は2019年対比で買上客数、売上高ともに増加傾向を示している。外出自粛の効果が継続的な地元消費につながっていると考えられる。
	小売業	60歳以上のワクチン接種が進んだためかその世代の客の姿が多くみられるようになってきた。また、その世代の客が好む商品の動きが戻ってきている。しかし、まだまだ目的買いで来店し、すぐに帰る客が大半を占めている。
	割烹料理店	新型コロナウイルス感染者の低年齢化が進んで小学生等の感染が目立ってきた。小学生の子を持つ親としては子供達へのワクチン接種が早く実施されるか、新型コロナウイルスの薬が開発されて普通の病気になることを願う。また通常の経済状態へ早く戻ってくれることを切に願っている。
	コンビニエンスストア	野菜高騰は家計に響いている。
	小売業	ワクチンを接種した人の動きが多少なりとも感じる事が出来る。
	自動車販売店	ベトナム・マレーシア等のロックダウンなど、海外での新型コロナウイルスの影響をもろに受けている。
	農産物直売所	宅配ギフトでは青果物高、梨の単価高にも関わらず、恵水梨等の高価格な物の動きが良い。
	レストラン	時短営業のため、ランチタイムにおいて高単価商品の出卓が目立つようになった。
	観光型ホテル	8月までは予約キャンセルの電話が多かったが、キャンセルの電話が減り、予約や問い合わせの電話が少しずつ出始めた。
	バス運転手	コロナ禍のなかで、飲食店ではテイクアウト・デリバリーサービスに活路を見出していると聞くが、市内でも国内資本のデリバリーサービスに加え、外資系のデリバリーサービスのバイクを見かけるようになった。
	タクシー運転手	タクシー運転手の中には生活が苦しく廃業する人もいる。特に若くて年金受給者でない人は深刻だ。十年後タクシー運転手はどれだけ確保できるのだろうか。
	タクシー会社	飲食店の閉店や企業の出先機関の閉鎖が目立っている。
	道の駅	全体的に将来の収入に不安があるのか購買意欲がない。出歩く人は若い人が目立つ。
	スーパー銭湯	都内の取引業者からの情報だと、繁華街の人出はかなり多くなっているとのこと。夜間の酒の提供もルールを守らず開けている飲食店もあるとのことだ。このことを考えると人出が多いにも関わらず、感染者数が減っているのは、ワクチン接種の効果が高いことが大きな要因と考えられる。したがって、県内においても10月から人出が増え、景気が良くなっていくと見込んでいる。
	スーパー銭湯	自粛や時短期間でも以前に比べルールを守りながら出来ることをやる方が増えて来ているように思える。一方で時短要請に応じない店舗も増えてきている。東京のように時短要請に応じない店舗が増えて来ってしまうと他の店舗も営業せざるを得ない。そのような店舗を少しでも減らして頂きたい。
	ペット美容室	職種にもよるが、身近なところでは新型コロナウイルスの影響はあまりないような気がする。家電販売業の友人は以前より忙しくなっていると言っていた。
設計事務所	近隣の建築大工や工務店の話では、あまりの建築資材の価格上昇で、利益率が大きく減少しているとのことである。	
企業	製造業(食料品)	9月に学校給食が全県でストップしているのは茨城県ぐらい。コロナ策は正しいとは思いますが、平気でキャンセルされ負債は業者持ち。インフルエンザや台風の時も同じだ。昔からの慣例だが、民間なら下請法に関わる事態と思われる。「よりよい給食の未来」のために。
	製造業(印刷・関連業)	ユーザーも不安がっている。
	製造業(印刷・関連業)	1年以上続くコロナ禍で、客との打ち合わせなどで良い話しが聞けない。
	製造業(窯業・土石製品)	生活に必要なものは購入するが、そのほかについては買控えていると思う。
	製造業(一般機械器具)	緊急事態宣言で学生はオンラインで授業を進めているが秋の行事はほぼ中止でかわいそうだ。ワクチン2回摂取が5割を超えた。早く経済が回ってほしい。
	製造業(精密機械器具)	コロナ禍にありながら、全体的な製品の受注は現状好転しているように感じられるが、半導体部品不足はどうにもならず、実に残念な事だ。
	運輸業(道路貨物運送業)	緊急事態宣言の影響で、小売店等は店舗から通販型に移行が進んでいる。その影響で、購入した商品の包装形態が袋から段ボールへと変わってきている。紙関係は海外への展開もあり、古紙不足による原料高が続いているようである。
	金融業	緊急事態宣言が延長となり、イメージダウンとなってしまったが、解除後の小規模なイベントや街おこしの計画を市内において耳にする。
雇用	不動産業	ウッドショックの影響により自宅の建築が間に合わず、希望している学区にスムーズに引っ越しができなくなった客が出ており必要のなかった費用が発生している。
	公共職業安定所	コロナ禍の中で求職者の来所が減少していることや事業所によっては求人を控えている所も見受けられる。
	求人開拓員	新型コロナウイルスによる観光業、交通、飲食業のダメージは確実に深まっている半面、株高に代表される、金融緩和による好景気感も見られ、景況が二極化してきている印象を受ける。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	昨年度に引き続いて行っているプレミアム商品券事業も1次・2次・3次販売と小規模事業者の活性化を図っているが、新型コロナウイルスの影響は大変大きく、効果も薄くなっているのではないかと危惧している。
	スーパー	当社の商圏である茨城・千葉県内にドラッグストアの出店が頻繁になってきている。これにより加工食品、菓子、リカー、日配、非食品といった部門に売上げ減の影響を受けるため、スーパーマーケット業態の景気動向が悪化する可能性が高い。
	衣料品販売店	今年が昨年より更に売上げが悪いのは、給付金の有無も要因のひとつだと思う。
	家電販売店	新型コロナウイルスによる感染状況、周辺状況の変化は例年の比ではない。
	農産物直売所	ある場所には人が集中しているがその他はほとんど人の出がない。お盆や彼岸などの行事も行わない人が増えてきている。
	小売業（薬品店）	医薬品の売上高、特に解熱剤が新型コロナウイルスワクチン接種の影響で売上げをのばしている。
	小売業（薬品店）	緊急事態宣言で外での飲食が激減しており、閉店する店も見かけるようになった。早くどうにかしてほしい。
	小売業	当社へ納入していた取引先が閉業するなど、コロナ禍の悪影響が色々と出てきている。
	洋食食堂	飲食店がコロナの温床のようにとらえられ、外食の機会が少なくなっている。スタッフの確保がますます大変である。
	日本料理店	飲食店で業態変更している所が見受けられる。3か月は少し良いように思えるが、その後は落ち着いてしまい変更した価値があるかどうか疑問に思える。
	海鮮料理店	新型コロナウイルスが収まっても今後のことはまったく考えられない。
	観光型ホテル	やはり緊急事態宣言が出されているため、客も知人も含め外出は少なくなっているように感じる。
	運転代行	特徴的な動きは特に見られない。景気の回復にはまだまだ時間がかかり期待できない。この先どうなるのかと不安を感じている。1日も早い景気の回復を願っている。
	旅行代理店	野菜、食品等の値上げが見られる。
	タクシー運転手	オリンピックの時はなんとか仕事もあり、給料もそこそこあったが、それ以降感染拡大し、仕事も大幅に減少した。3～4時間、1回も乗車なしが続いている。会社によっては路線バスだけの会社もあり、早く社会が回復してくれるよう、切に願う。
	レジャー施設	外国人技能実習生の新型コロナウイルスの感染者が目立つようになってきた。外国人技能実習のワクチン接種が進まないと農業が盛んな地域では隠れ感染が止まらないと思う。
	理・美容店	理容業へ憧れる若い人がとても増えている。東京や都会の専門学校ではなく、茨城の人は茨城の専門学校への通学希望者が増えている。
	クリーニング店	飲食店が時短や休業しているのもので去年の米が残っていてかなり安いようだ。米ばかりでなく他の物にまで影響している。
住宅販売会社	HPからの問合せがほとんどなくなり、リフォームでOBのリポート工事（小工事）が増えている状況である。	
企業	農業関係者	世の中の商品が値上げ傾向にあるのか、買物に行くと以前に比べると価格が上がっているものが多いと思われる。
	製造業（化学工業）	原材料価格の上昇やひっ迫が起きている。国内製造業への影響も避けられない状況になりつつあると感じる。
	製造業（精密機械器具）	米の収穫期に入ったが、米が安い。
	製造業（食料品）	菓子業界はお祝い品の出が極端に少なくなっている。
	製造業（食料品）	茨城県水試発表によるサバ類秋漁予報（8月30日付）によれば水揚げ量は前年を上回るが漁獲がまとまるのは12月上旬以降とのことにて、それまでの期間は水産業界は景気低迷が続く。
	製造業（金属製品）	受注減少により労働時間は確実に少なくなっている。したがって企業側も労働側も収入は減となった。
	建設業	個人病院が閑散としている。飲食業界、旅行業界が不振続きである。
	運輸業（道路貨物運送業）	ドライバーの面接が多くなってきている。現在の職種はいろいろだが、給料が減り今後の不安を感じ転職する方が多い。
	金融業	ウッドショックの影響や、建築に係る資材等も値上がりしていると聞いているが、新築の住宅ローン相談は増えているように感じる。
	保険業	米価が前年に続き下落している。1等コシヒカリ60kgで10,300円。米作農家が泣きを入れている。
	不動産業	新規の客で事務所や貸店舗などテナントの動きが良いような気がする。居酒屋、飲食店等はコロナ禍の影響によりだいぶ悪いような気がする。
サービス業（会計事務所）	飲食店の景気が最悪である。	
雇用	人材派遣業	取引先は多岐にわたり、全体的に悲壮感は少ないが先行きが見えないため様子見という状況。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	コメント
家計	家電販売店	自分が買物に出向いても客の数が減っている気がする。
	スーパー	ドラッグストアの出店が多く、大きく影響している。
	スーパー	特に大きな動きはみられない。
	コンビニエンスストア	緊急事態宣言の延長により主に土曜、日曜の休日に客数の減少が見られた。
	農産物直売所	お中元、米、梨などは贈り物が多く、不景気ではないのかなと思う。
	小売業	消費につながる食品やテイクアウトについては継続して好調。エステや音楽教室など「自分磨き」のニーズが底固い。
	小売業（生花店）	以前にも増してリフォーム業者が増えたように思う。特に、若い経営者のデザイン性をうたった雰囲気業者が増えたように感じる。
	衣料品販売店	すべてのサイクルが狂ってしまった。成長している通販業、泣いている小売業、飲食業、すべて片寄ってしまった。正常に戻らないかもしれないが、夢を持って皆頑張ってもらいたい。
	洋食食堂	近くで飲食業の店がテイクアウトのお芋専門店をオープンした。隣のラーメン店はセルフの店だが1人で来店する客が回転して繁盛している。
	都市型ホテル	ブライダル専門会社や酒屋などかなり厳しいとの事で関連会社従業員への割引販売するなどいろいろと考えながら何とか営業しているようだ。
	都市型ホテル	市内の飲食店の人が、花火大会が中止になり観客の飲食代の損失は、期待していただけにきびしいと話していた。新型コロナウイルスの影響で2年連続の中止となるのでこの業界には少なからず損失が大きいと考える。
	都市型ホテル	夜に外出する人が少ないのでスーパーなどに夜買物に行くとガラガラである。飲食店も営業していないし酒を飲ませてくれる店もないから夜の街がとても静かだ。国の債務が増加して今後は税金が高くなることを心配している人が多く感じられる。
	タクシー会社	12月以降になって変わると思うが、景気は悪くなっていると思う。
	サービスエリア	9月中旬近くから、ぶどう狩り、梨狩り、コキアの見頃についての問い合わせが増えて来ており、主に屋外の行楽を目的とする観光客の動きがやや目立つ。
	ゴルフ場	現在のコロナ禍で法人の接待やコンペ等はコンプライアンス上開催を見送られることが多くなっている。緊急事態宣言などの自粛要請が解除されれば、多少の来場者増加が期待できるのではないと思う。
	ゴルフ場	100年に一度の新型コロナウイルスが発生し、ナーバスになっている。客がマスクをはずして話しているのを見ると違和感を覚える。今は少し落ち着いてきたように見えるが、先が見えないので皆不安な中で少しでも楽しみを探していると思う。
	テーマパーク職員	8月から茨城県に緊急事態宣言が出たことによって、公共施設が休館せざるを得なかったことは、レジャー・アウトドア・観光業の一部に大きく影響を生んだ。逆に客の意見を聞くと、その分家族と家で過ごす時間を充実させるため、アウトドアの道具やインテリアを購入するなど、消費はためらわないようだった。同じアウトドアでも体験施設や飲食が厳しい分、道具のメーカーや物販などは景気が良かったように感じる。コロナ禍では事業体によって大きく左右される。
理・美容店	景気を良くして欲しい。	
設計事務所	半導体不足によりエコキュート、エアコン等の入手が困難となっている。また部材の値上がりで仕入原価が上昇し利益幅が小さくなっている。	
企業	農業関係者	今まで輸入していた原料が割高になって商品の値上げに歯止めが効かない。国内での資源の確保が必要である。
	農業関係者	現在においては、新型コロナウイルスの影響が多大であり、例年との比較は困難である。今後の予測もどう変わるのか分からない。
	製造業（窯業・土石製品）	業種によりさまざまだと思う。
	製造業（印刷・同関連業）	廃業を考えている小規模事業者の話も耳にする。
	製造業（その他）	仕事は忙しいのだが従業員が見つからなくて困っている。
	製造業（窯業・土石製品）	イベントの中止や外出自粛により、飲食関係や旅行関係者は日々不安を抱えており、ワクチン接種の進み具合によっては死活問題となっている。また、翌年以降に3回目の接種が必要なかどうか分からず不安が募る。
	製造業（非鉄金属）	自動車業界は総じて同様の動きであり、厳しい状況である。但し、自動車の需要は上昇しており、供給が改善すれば挽回基調になるものと推察する。
	建設業	75歳前後で廃業する経営者が身近な友人に数人いる。当社経営者もあと数年で75歳になる。そろそろ、なるべく倒産させないで廃業できる方法を模索しなければならない。事務的な職業の経営者は廃業も簡単だろうが、年数が経った倉庫や使われない資材などが多くある建設業は店仕舞いも容易ではない。
	建設業	全般的に景気がいいという業者は見られない。コロナ禍の中で大変だろう。
	金融業	入れ替りが頻繁な飲食業界だが、特に家賃が高い駅周辺の賃貸物件では、新たな賃借人が決まらず、長期間にわたり空室の物件が増えてきている。また小規模個人経営の飲食店では、まん延防止等重点措置の適用以降、来店客も少なく酒の提供も出来ないため、今回の緊急事態宣言の発出・延長に従い休業したほうが助かるとの声もある。
不動産業	茨城県のコロナ対策は後手に回っているように感じる。PCR検査ひとつをとっても積極的とは思われず、意図的に数を抑えようとしているように感じる。県や国のコロナ対策に県民が疑心暗鬼になっている限り、景気は良くなるまい。	
雇用	民間職業紹介業	運搬車両系や半導体関連が活発になりつつある。
	求人広告	お金を使うことに慎重になっている人が増えている印象はあるが、飲食店のメニュー改定やチラシ作成など、集客やブランディングに関する相談は増えた印象がある。

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	誰もコロナ禍で疲れているが、感染が怖いので出歩かない。
	商店街代表者	慶事、仏事の規模は縮小気味だが、仏事だけはやらないという家はないようだ。早く新型コロナウイルスが収束することを願う。
	スーパー	買いだめはなくなったが、とにかくお金を使えない、先の見通しが立たないとの声が多い。
	コンビニエンスストア	隣のセブンイレブンが深夜休業になったが、売上げは変わらない。
	コンビニエンスストア	10月度のタバコ増税に向けて9月の初めから購入を急ぐもしくは買いだめをする客の動きが既に確認できている。月末に向けてさらにその動きが加速するものと思われる。
	自動車販売店	感染症、異常気象、半導体と負の連鎖が止まらない。ワクチン接種が進んできている感じはするので、そこに期待するしかない。
	農産物直売所	ふるさと納税返礼品を委託出荷しているが例年に比べ出荷が多い。
	小売業（酒類）	新型コロナウイルスに振り回されて早2年。飲食店に協力金が出てもそこに絡む業者には何の支援もない。飲食店の中には普通にやってるよりずっと儲かるなんて平気で言ってる人もいたりして怒りの持っていくところがない。
	製茶販売	安いものしか買わない。野菜は高いので片寄った栄養バランスになる。我慢の限界である。
	レストラン	いつまでも続く自粛ムードに国民は疲弊している。飲食店も同様。知らないうちに、外食しなくてもテイクアウトでいいというように変わってしまうのではないかという不安を感じる。果たして来年は新型コロナウイルスは収まっているのかという不安を誰もが感じている。
	日本料理店	他業種でも悪化してきているという声が多くなった。
	食堂	みんな外出するのを控えているためか土、日曜日に店の前を通る車がかなり少なく感じる。
	旅行会社	それなりに自粛しているようで、密集している様子は見かけない。買物などもネットで済ます人が増えてきている。
	旅行代理店	政府や県から、PCR検査を受けて陰性の人はマスクを着用して旅行に参加してくださいと言ってほしい。そのPCR検査費用は個人でなく、行政で検査キッドを各バス会社へ配布し、乗車30分前に検査して陰性の人は安心して乗車できる体制ができたらありがたい。もちろん三密、除菌、手洗い、換気、マスク着用を守り、感染防止しながら運行する。
	タクシー運転手	新型コロナウイルスが収まれば仕事も多くなって、景気も良くなっていくと思う。
	観光型ホテル	昨年2月からの不安はいまだ解決されず緊急事態宣言が何回も繰り返されてきた。お再びもありえる状態の中、じっと耐え忍ぶことを強いられてきた。何度復活を試みても国全体で自粛要請が出されることが繰り返されてきた。もう自力もなくなってきた。まずは国全体が元気にならなければ国民も会社も元気には絶対になるはずがない。まず国が元気になる舵取りをしてほしいと思う。
	ゴルフ場	職場や街に出たとき、人出が以前より増えていると感じる。
	ゴルフ場	茨城県で緊急事態宣言が発令されたわりには交通量は以前より増えているように感じる。
商店街代表者	新型コロナウイルスのワクチンの接種によって一時的に感染者数は減少すると思われる。	
設計事務所	特に子供が居る人にとっては切実で切羽詰まった状況であることが半端なく伝わってくる。	
企業	製造業（窯業・土石製品）	来月からの最低賃金引上げ等の部分を製品単価へ出来れば見込みはあるが、タイミング等難しいところがあり検討中である。
	製造業（非鉄金属）	景気が良いとは思われない。
	製造業（窯業・土石製品）	北関東をエリアとする回転寿司の本部直営のチェーン店が開店したので行ったところたくさんの客がいた。機械がデジタル化され、寿司ネタのボリュームとうまさ期待以上で驚き、何度も行っている。客を納得させることが商売繁盛の基本だとあらためて感じた。
	製造業（金属製品）	周囲に明るい話題が少なく失望する話も聞こえる。
	建設業	民間の工事も少なく、利益率も減少傾向にあるので景気はあまりよくないと思う。
	金融業	木材材料が依然として価格が不安定であり、今後も一般住宅の建築状況に影響が懸念されている。
	不動産業	投資家が賃貸戸建てや売りアパートの売買に積極的になってきている。東京、神奈川辺りより探しに来る。
	サービス業（コンサルタント業）	県西地域はまん延防止等重点措置となり、更に県が緊急事態宣言の指定を受けアルコールを提供する居酒屋等は営業自粛となりおり街が非常に暗く活気もない。
雇用	求人広告	これまで景気が良かった業種も軒並み苦戦している状況が見られる。例えば車のディーラーの営業に話を聞いても、目の前の売上げを上げるために色々苦戦していると言っていた。病院も忙しい割には、無駄な出費は今は避けられないと言っていた。
	学校就業関係者	非常事態宣言発令のため生徒募集の広報活動がスムーズに出来ない。9月30までオンライン授業が続いている。食品及び野菜の高騰。
	求人開拓員	管内の工業団地でいくつかの新工場が建設中である状況もあり、将来的には景気が上向いていくと思われる。